いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

2013年3月期 第3四半期決算報告

2013年2月13日
第一生命保険株式会社

決算のポイント

■ １０～１２月にかけて金融環境が好転したことで、第一生命単体ではキャピタル損益が改善、第一フロンティア生命でも運用損益がプラス寄与、豪ＴＡＬ等海外事業からの貢献度が増すなどグループ各社が恩恵を受けた

■ 国内営業職員チャネル、銀行窓販、海外市場で営業業績は堅調に推移

■ 第一生命単体の内部留保積み増し・デュレーション長期化を前倒しで進捗させたことに加え、第一フロンティア生命も危険準備金を繰り入れるなど、財務健全性強化に向けた対応を加速

業績ハイライト

■ 経常利益は、前年同期に厳しい運用環境や法人税制改正に対応すべく内部留保を取り崩し、大幅増益だったため当期は減益

■ 純利益は、金融環境好転の下、内部留保の積み増しを進めながらも大幅増益・高い進捗を達成

(億円)

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計(a)	前年同期比		＜参考＞ 13/3期 業績予想(b)	進捗率(a/b)
経常収益	35,968	35,837	△131	△0%	45,960	78%
第一生命単体	32,573	30,376	△2,196	△7%	39,880	76%
経常利益	1,848	1,126	△721	△39%	1,380	82%
第一生命単体	1,996	1,192	△803	△40%	1,560	76%
純利益	127	246	+119	+94%	250	99%
第一生命単体	63	343	+279	+437%	440	78%

連結主要業績

■ 運用収支が改善し、健全性強化に向けた対応も加速

連結損益計算書（要約）(1)

（億円）

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	増減
経常収益	35,968	35,837	△131
保険料等収入	26,625	25,519	△1,105
資産運用収益	7,141	8,376	+1,235
うち利息・配当金等収入	5,056	5,104	+47
うち有価証券売却益	2,018	1,710	△307
うち特別勘定資産運用益	-	1,180	+1,180
その他経常収益	2,201	1,941	△260
経常費用	34,120	34,710	+589
うち保険金等支払金	19,628	19,682	+53
うち責任準備金等繰入額	3,758	6,470	+2,712
うち資産運用費用	4,005	2,016	△1,989
うち有価証券売却損	1,064	500	△564
うち有価証券評価損	830	534	△295
うち金融派生商品費用	32	302	+269
うち特別勘定資産運用損	1,213	-	△1,213
うち事業費	3,393	3,450	+57
経常利益	1,848	1,126	△721
特別利益	288	49	△239
特別損失	308	216	△92
契約者配当準備金繰入額	522	597	+75
税金等調整前四半期純利益	1,305	361	△943
法人税等合計	1,202	131	△1,071
少数株主損失（△）	△24	△16	+7
四半期純利益	127	246	+119

連結貸借対照表（要約）

（億円）

	12/3末	12/12末	増減
資産の部合計	334,686	345,176	+10,489
うち現預金・コール	5,643	6,521	+877
うち買入金銭債権	2,943	2,925	△17
うち有価証券	270,387	281,655	+11,267
うち貸付金	34,136	31,917	△2,218
うち有形固定資産	12,546	12,383	△163
うち繰延税金資産	2,845	2,573	△272
負債の部合計	324,769	333,757	+8,988
うち保険契約準備金	304,899	311,366	+6,466
うち責任準備金	298,627	304,793	+6,165
うち退職給付引当金	4,337	4,466	+128
うち価格変動準備金	748	891	+142
純資産の部合計	9,917	11,419	+1,501
うち株主資本合計	5,692	5,560	△131
うちその他の包括利益累計額合計	4,132	5,773	+1,640
うちその他有価証券評価差額金	4,834	6,171	+1,336
うち土地再評価差額金	△616	△380	+235

(1)　特別勘定資産運用損（益）は、責任準備金の戻入れ（繰入れ）で相殺されるため、経常利益には影響しません

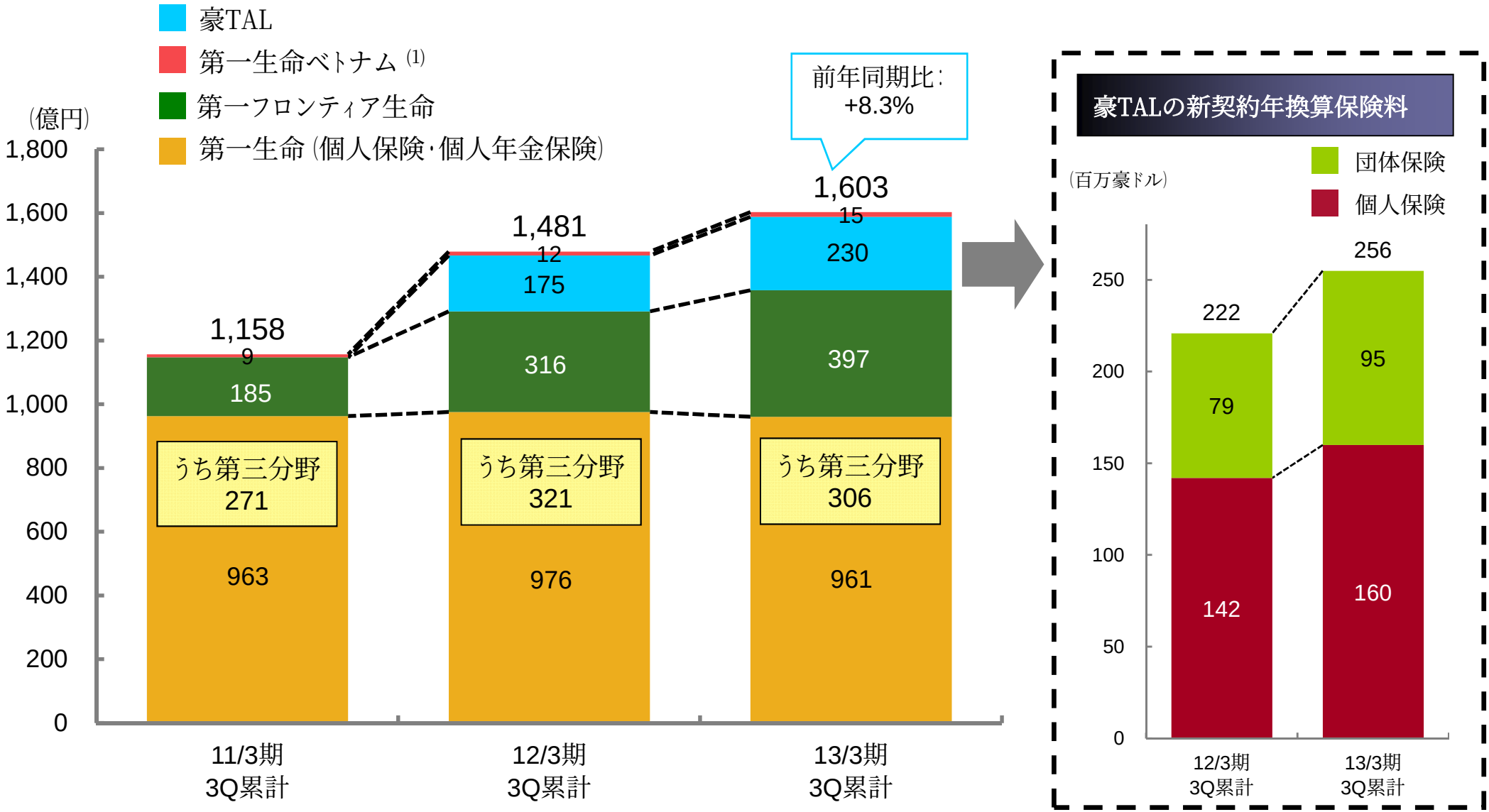
グループ各社の業績

	【第一生命】(億円)			【第一フロンティア生命】(億円)			【豪TAL】(1)(百万豪ドル)			【連結】(億円)		
	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	前年同期比	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	前年同期比	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	前年同期比	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	前年同期比
経常収益	32,573	30,376	△7%	2,558	4,258	+66%	1,543	1,793	+16%	35,968	35,837	△0%
保険料等収入	23,270	21,142	△9%	2,429	3,214	+32%	1,217	1,370	+13%	26,625	25,519	△4%
資産運用収益	7,074	7,381	+4%	127	1,043	+717%	19	184	+849%	7,141	8,376	+17%
経常費用	30,577	29,183	△5%	2,800	4,389	+57%	1,412	1,665	+18%	34,120	34,710	+2%
保険金等支払金	18,343	17,923	△2%	688	1,085	+58%	826	855	+3%	19,628	19,682	+0%
責任準備金等繰入額	2,318	3,412	+47%	1,636	2,900	+77%	134	357	+166%	3,758	6,470	+72%
資産運用費用	3,663	1,905	△48%	362	256	△29%	62	24	△60%	4,005	2,016	△50%
事業費	3,005	2,959	△2%	106	137	+29%	331	364	+10%	3,393	3,450	+2%
経常利益(△は損失)	1,996	1,192	△40%	△ 241	△ 130	--	131	128	△3%	1,848	1,126	△39%
特別利益	59	49	△16%	--	--	--	--	--	--	288	49	△83%
特別損失	305	213	△30%	1	2	+107%	2	--	△100%	308	216	△30%
少数株主損失(△)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	△ 24	△ 16	△33%
四半期純利益(△は損失)	63	343	+437%	△ 243	△ 134	--	86	86	△1%	127	246	+94%

(1) *豪TALの数値は、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております*

新契約動向（年換算保険料ベース）

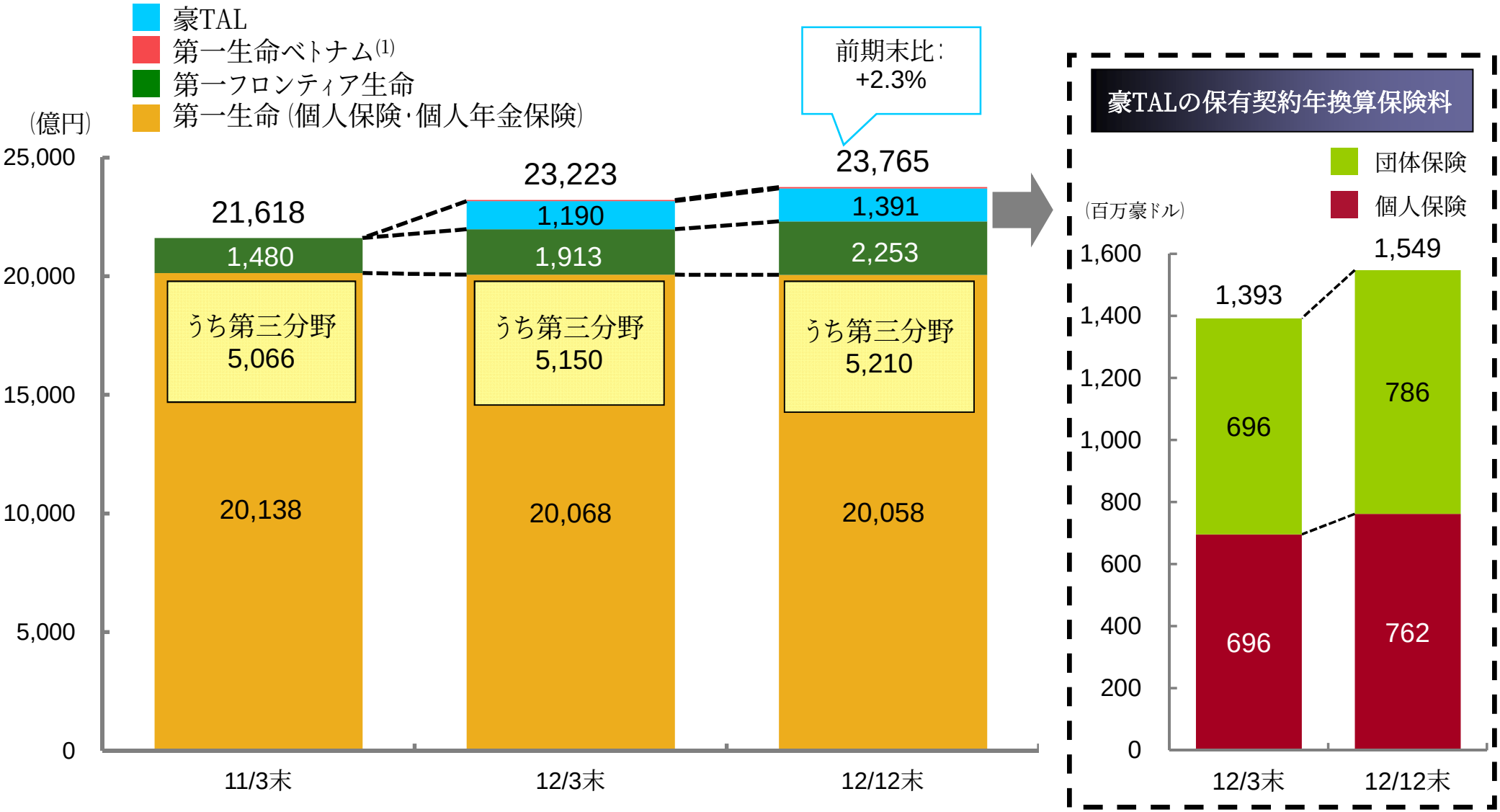
第一生命グループの新契約年換算保険料



(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です

保有契約動向（年換算保険料ベース）

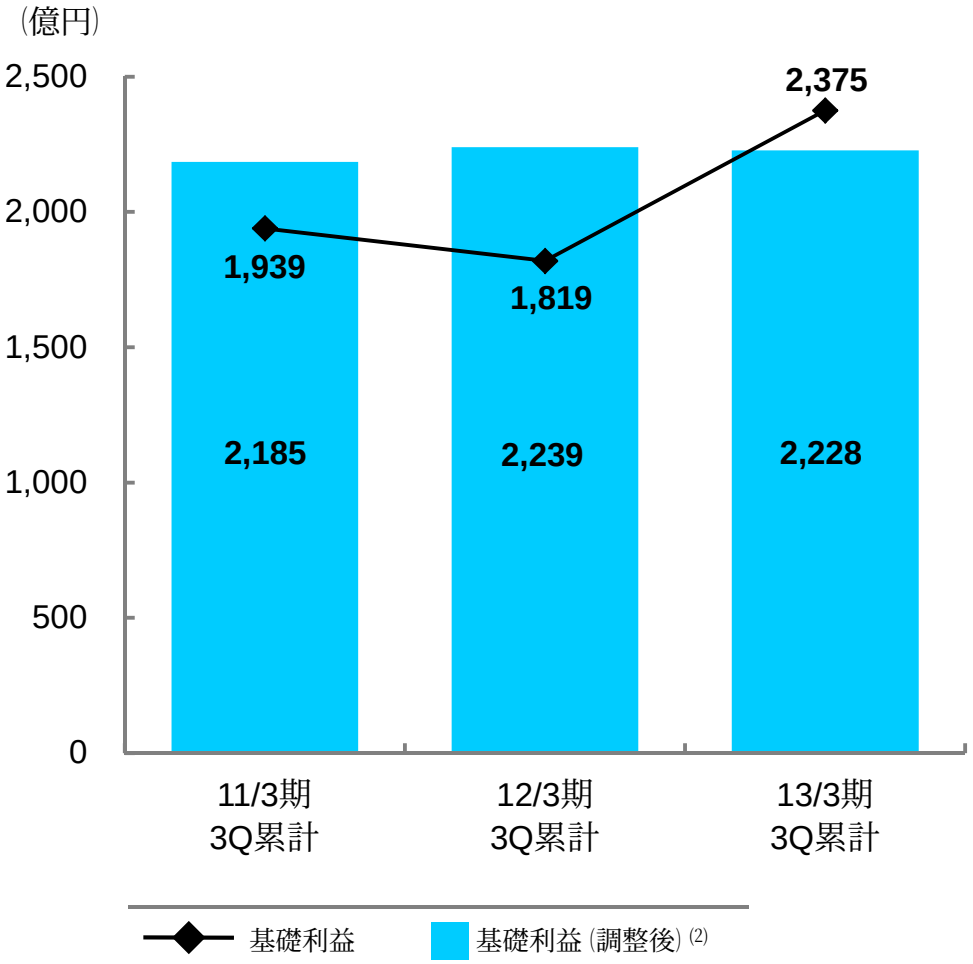
第一生命グループの保有契約年換算保険料



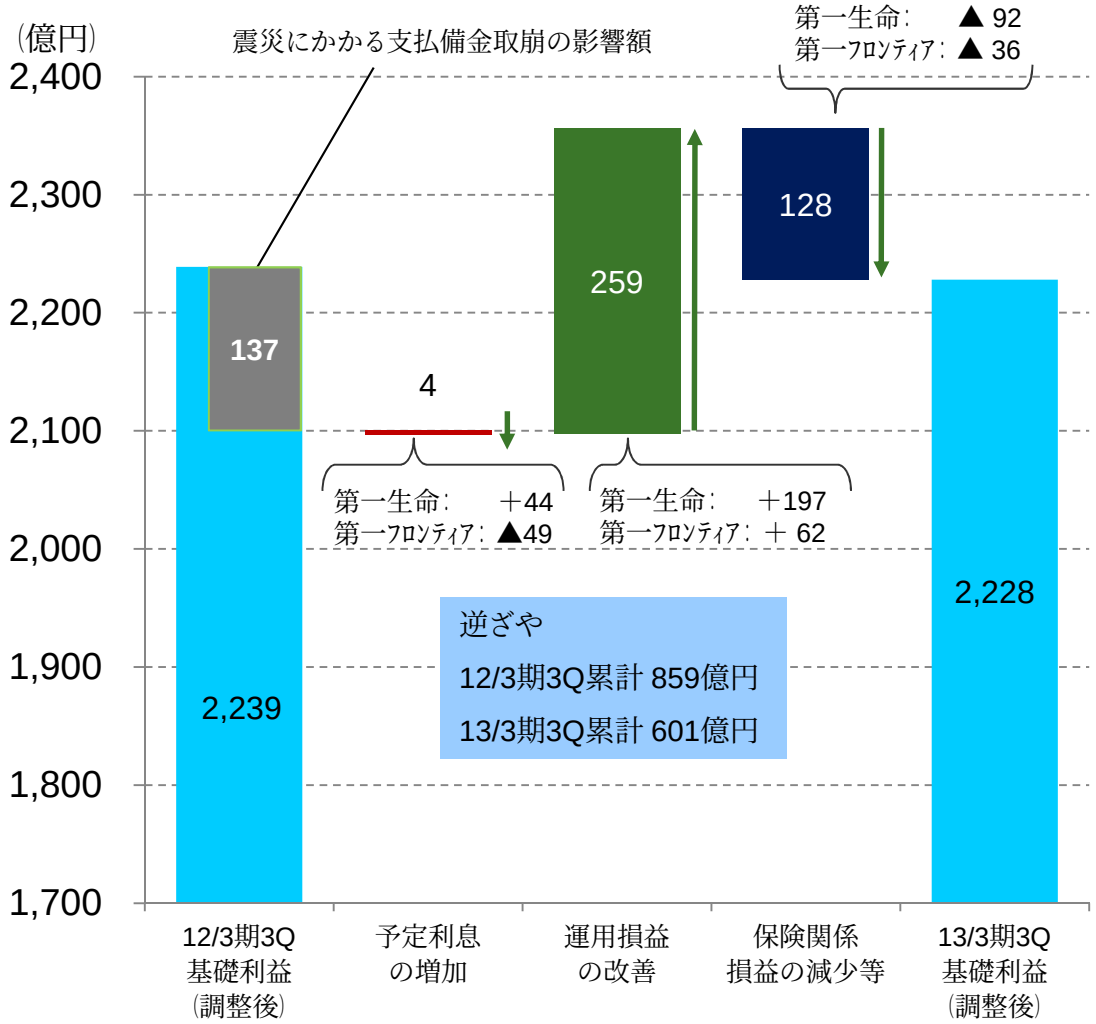
(1) *第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。12/3末、12/12末の第一生命ベトナムの保有年換算保険料はそれぞれ50億円、61億円です。11/3末の数値は計算を行っていません*

基礎利益の状況

基礎利益 (1)



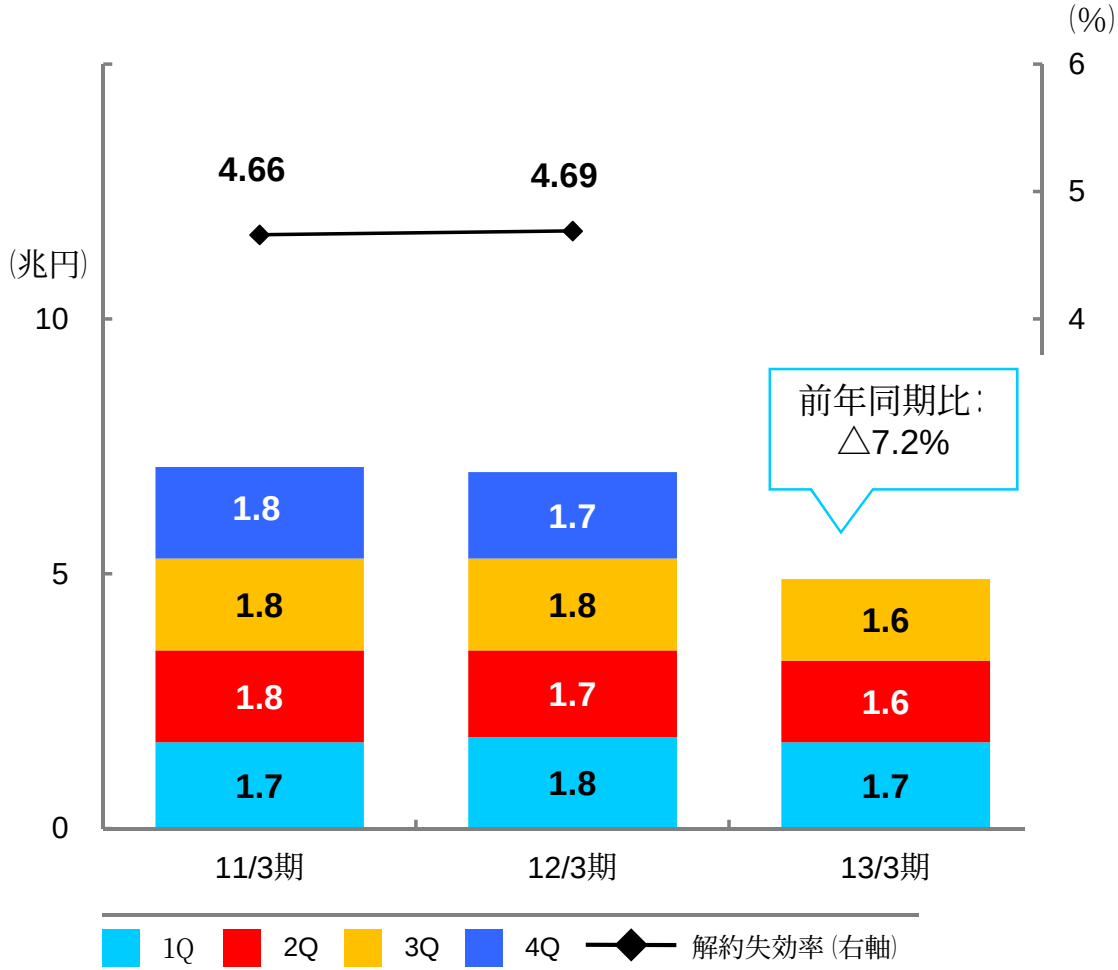
基礎利益 (調整後) の変動要因 (1) (2)



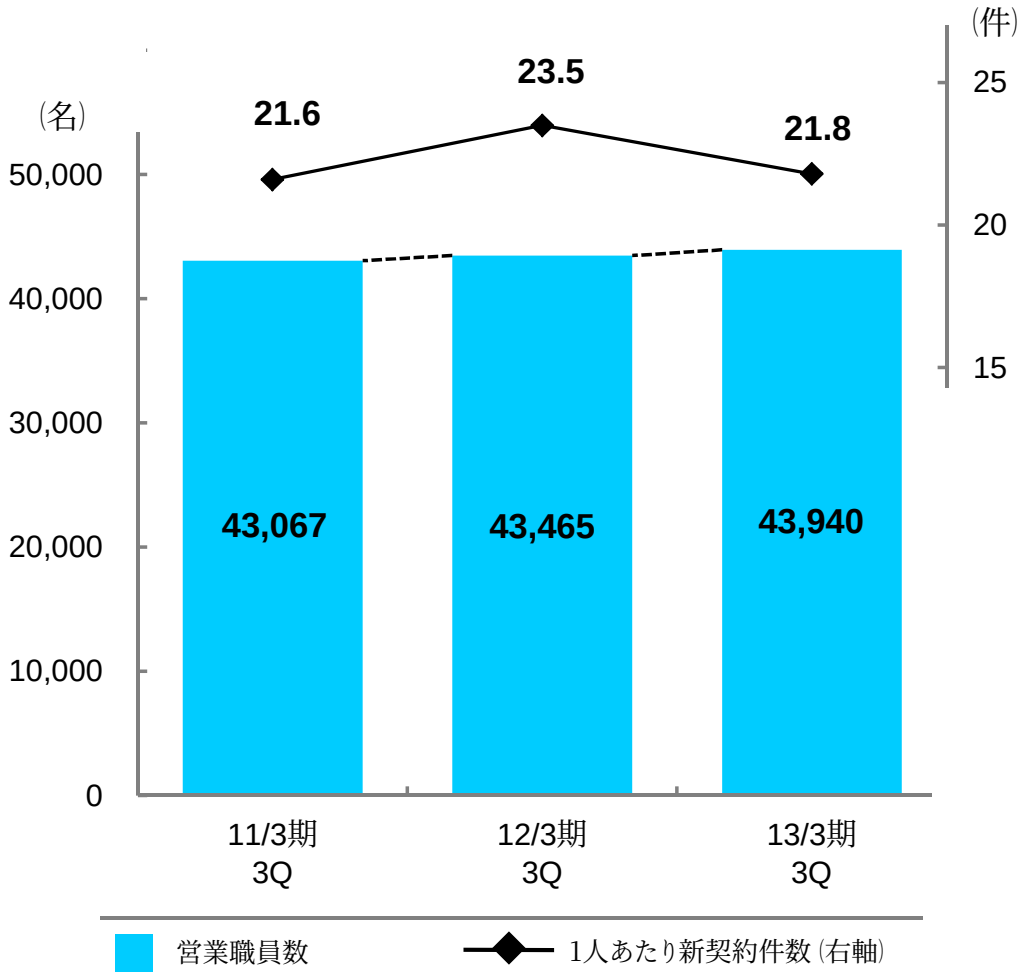
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース
(2) 基礎利益 (調整後) ＝ 基礎利益 ＋ 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

解約失効高、営業職員数および生産性

解約失効高（個人保険・個人年金保険）



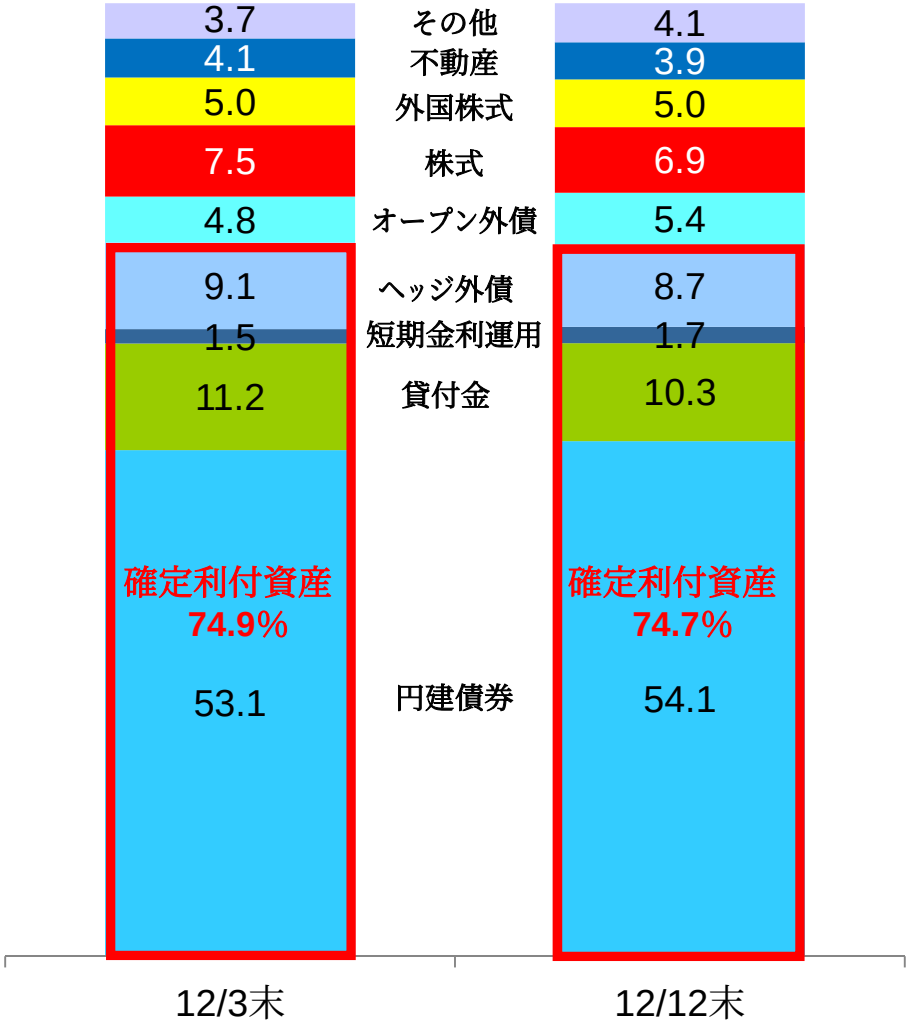
営業職員数および生産性(1)



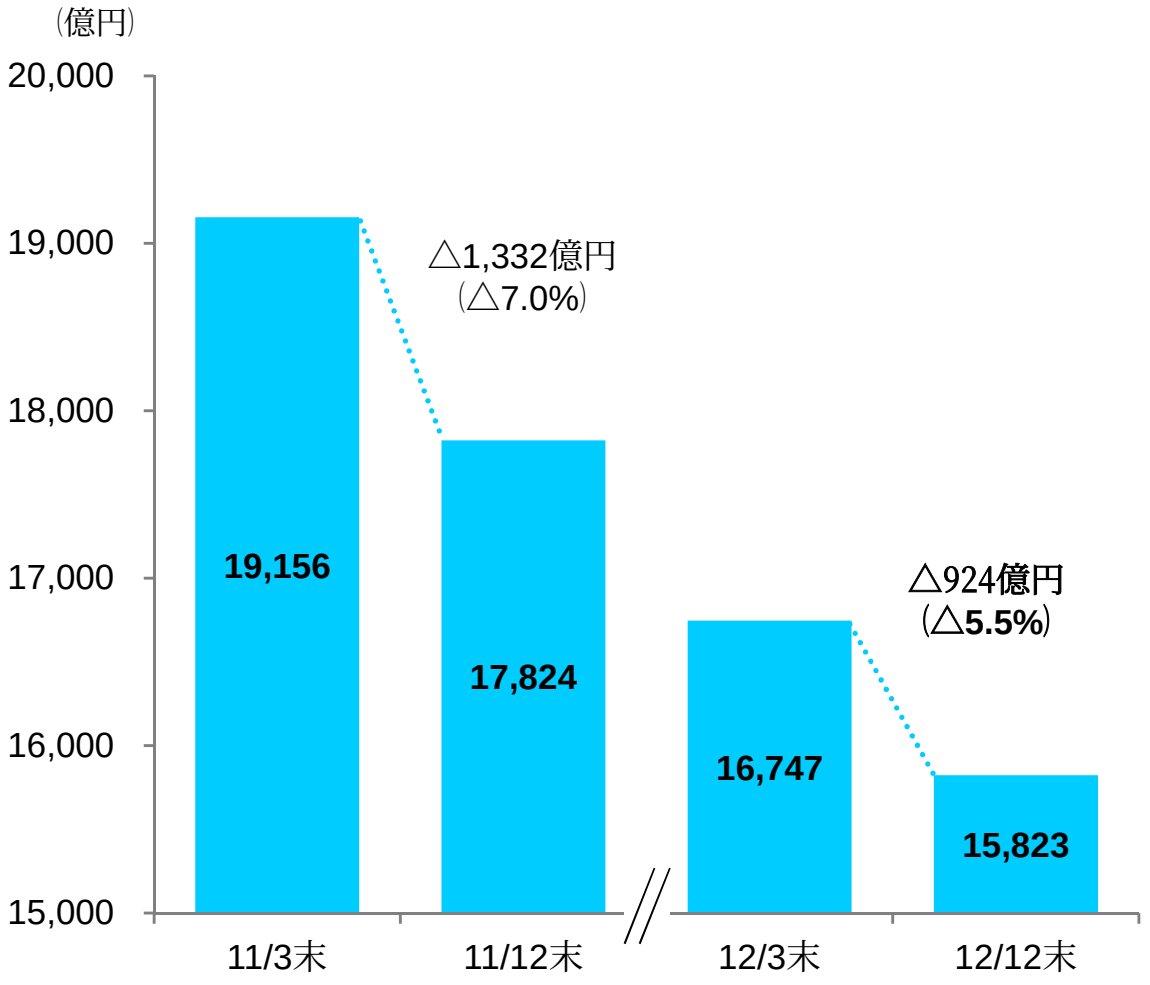
(1) *営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております*

一般勘定資産運用の状況

資産の構成（一般勘定）



国内株式の簿価 (1)



(1) 国内株式のうち時価のあるもの（子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く）

第一生命単体業績

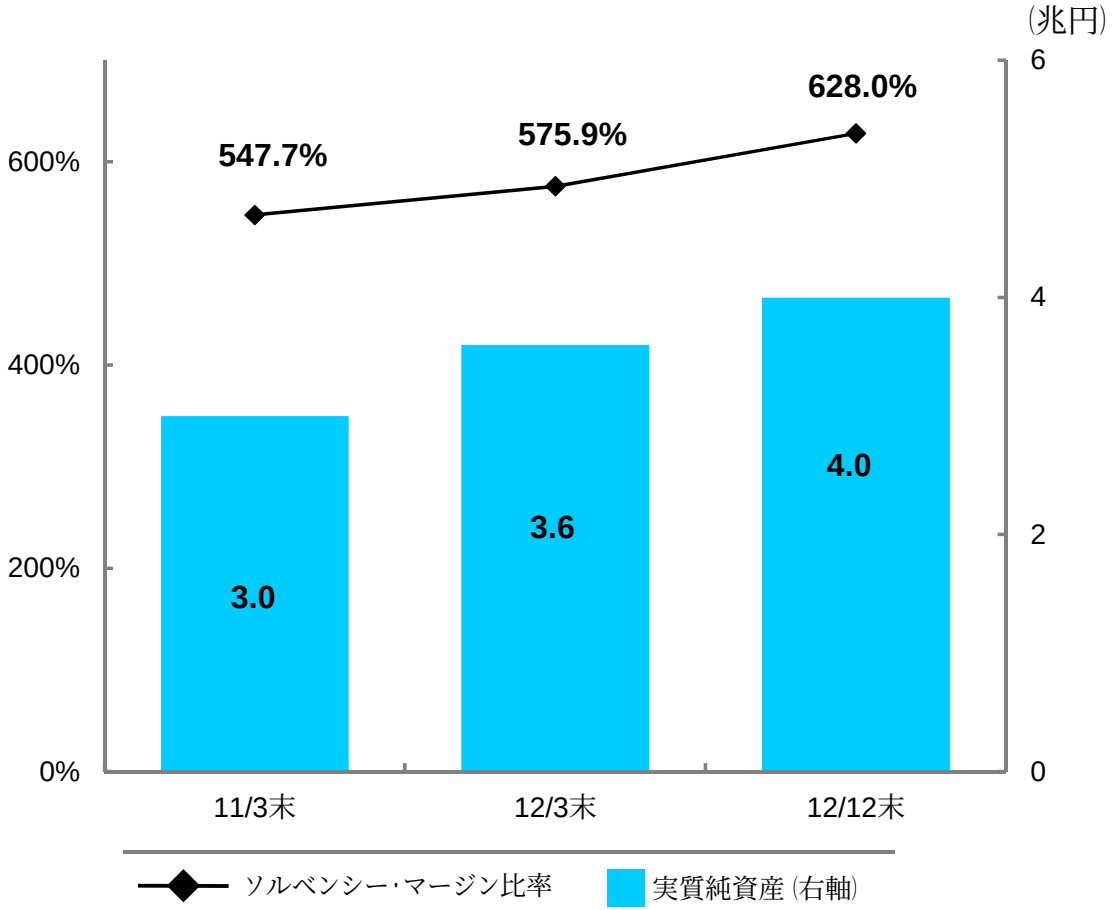
健全性指標

含み損益（一般勘定）

（億円）

	12/3末	12/12末	増減
有価証券	12,156	13,863	+1,706
国内債券	7,906	7,691	△214
国内株式	2,978	2,414	△563
外国証券	1,144	3,494	+2,350
不動産	△365	191	+556
その他共計	11,799	14,041	+2,242

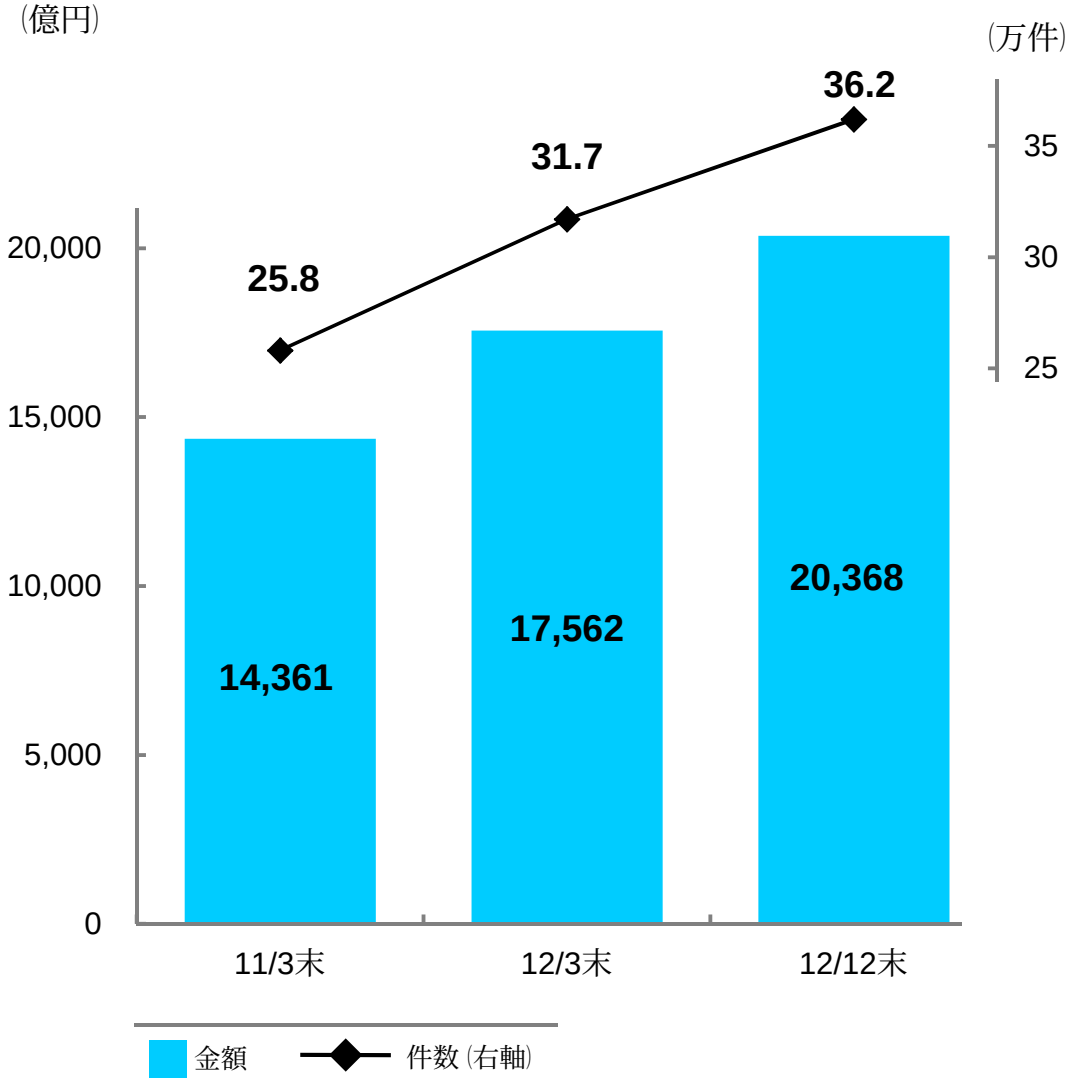
ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



<参考> 2012年12月末　連結ソルベンシー・マージン比率：617.4%

第一フロンティア生命

保有契約高



収支の状況

(億円)

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計
経常収益	2,558	4,258
うち保険料等収入	2,429	3,214
うち変額商品	495	574
うち定額商品	1,620	2,289
うち資産運用収益	127	1,043
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	90	-
経常費用	2,800	4,389
うち責任準備金等繰入額	1,636	2,900
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(△は戻入)(B)	407	△ 136
うち危険準備金繰入額(C)	22	139
うち資産運用費用	362	256
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(D)	-	216
経常利益(△は損失)	△ 241	△ 130

当期純利益(△は損失)	△ 243	△ 134
当期純利益 −(A)+(B)+(C)+(D)	95	84

【参考】
再保険収支

再保険収入	313	350
再保険料	417	467
再保険収支	△ 103	△ 116

定額年金の市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額

繰入額(△は繰入)	△ 21	△ 38

連結子会社業績

豪TAL(1)

(百万豪ドル)

	12/3期3Q累計	13/3期3Q累計	前年比
経常収益 (2)	1,543	1,793	＋16%
うち保険料等収入 (2)	1,217	1,370	＋13%
経常利益 (2)	131	128	△3%
純利益(A) (2)	86	86	△1%
修正額(B)	△ 2	12	
うち負債割引率の変化	△ 23	△ 17	
うち償却負担	17	16	
その他	3	13	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	84	99	＋18%

<参考>

	11/12末	12/12末
為替レート(豪ドル)	79.12円	89.80円

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値
(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

2013年3月期業績予想

■ 第3四半期業績も通期業績予想に対して高い進捗ながら、現時点では通期利益予想は据え置き

(億円)

	12/3期	13/3期(予)	増減
経常収益	49,317	45,960	△ 3,357
第一生命単体	43,982	39,880	△ 4,102
第一フロンティア	4,148	4,430	+ 281
TAL(百万豪ドル)	2,041	2,090	+ 48
経常利益	2,259	1,380	△ 879
第一生命単体	2,437	1,560	△ 877
第一フロンティア	△ 282	△ 250	+ 32
TAL(百万豪ドル)	142	100	△ 42
当期純利益	203	250	+ 46
第一生命単体	176	440	+ 263
第一フロンティア(1)	△ 257	△ 234	+ 23
TAL(百万豪ドル)	93	70	△ 23
1株当たり配当金	1,600円	1,600円	±0円

(参考)

基礎利益 (第一生命単体)	3,024	2,700程度	△ 324

(1) 持分考慮後

ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー(1)

■ 経済環境の改善等により9月末比約4,100億円増加

第一生命グループのEEV(試算値)

(億円)

	12/9末	12/12末	増減
EEV	24,848	約28,900	約＋4,100
修正純資産	18,245	約20,600	約＋2,300
保有契約価値	6,603	約8,300	約＋1,700

第一生命(単体、試算値)

(億円)

	12/9末	12/12末	増減
EEV	25,285	約29,200	約＋3,900
修正純資産	19,467	約21,600	約＋2,200
保有契約価値	5,818	約7,600	約＋1,800

第一フロンティア生命(試算値)

(億円)

	12/9末	12/12末	増減
EEV	1,231	約1,200	約△0
修正純資産	1,203	約1,300	約＋100
保有契約価値	28	約△100	約△100

(1)　2012年12月末の保有契約をベースとしています。
(2)　経済前提は2012年12月末、非経済前提は2012年9月末と同一のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。

※　なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー（2）

TAL（試算値）

（億円）

	12/9末	12/12末	増減
EEV	1,454	約1,600	約＋200
修正純資産	694	約800	約＋100
保有契約価値	759	約800	約＋100

＜参考＞TAL（豪ドルベース、試算値）

（百万豪ドル）

	12/9末	12/12末	増減
EEV	1,792	約1,800	約＋0
修正純資産	856	約900	約＋0
保有契約価値	936	約900	約＋0

12/9末EEV：
　　12/9末の為替レート（1 豪ドル＝81.12円）を使用

12/12末EEV：
　　12/12末の為替レート（1 豪ドル＝89.80円）を使用

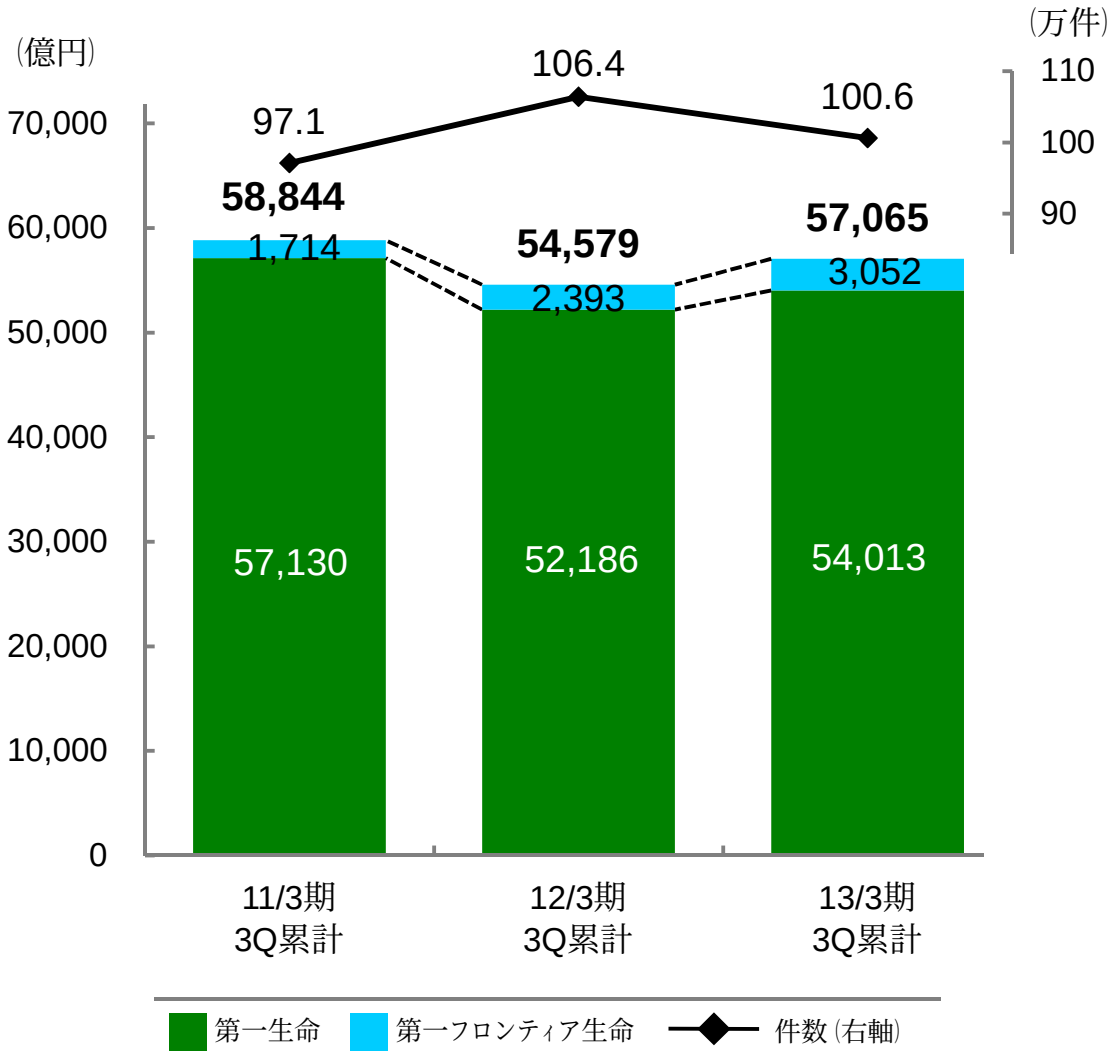
(1)　2012年12月末の保有契約をベースとしています。
(2)　経済前提は2012年12月末、非経済前提は2012年9月末と同一のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。

※　なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

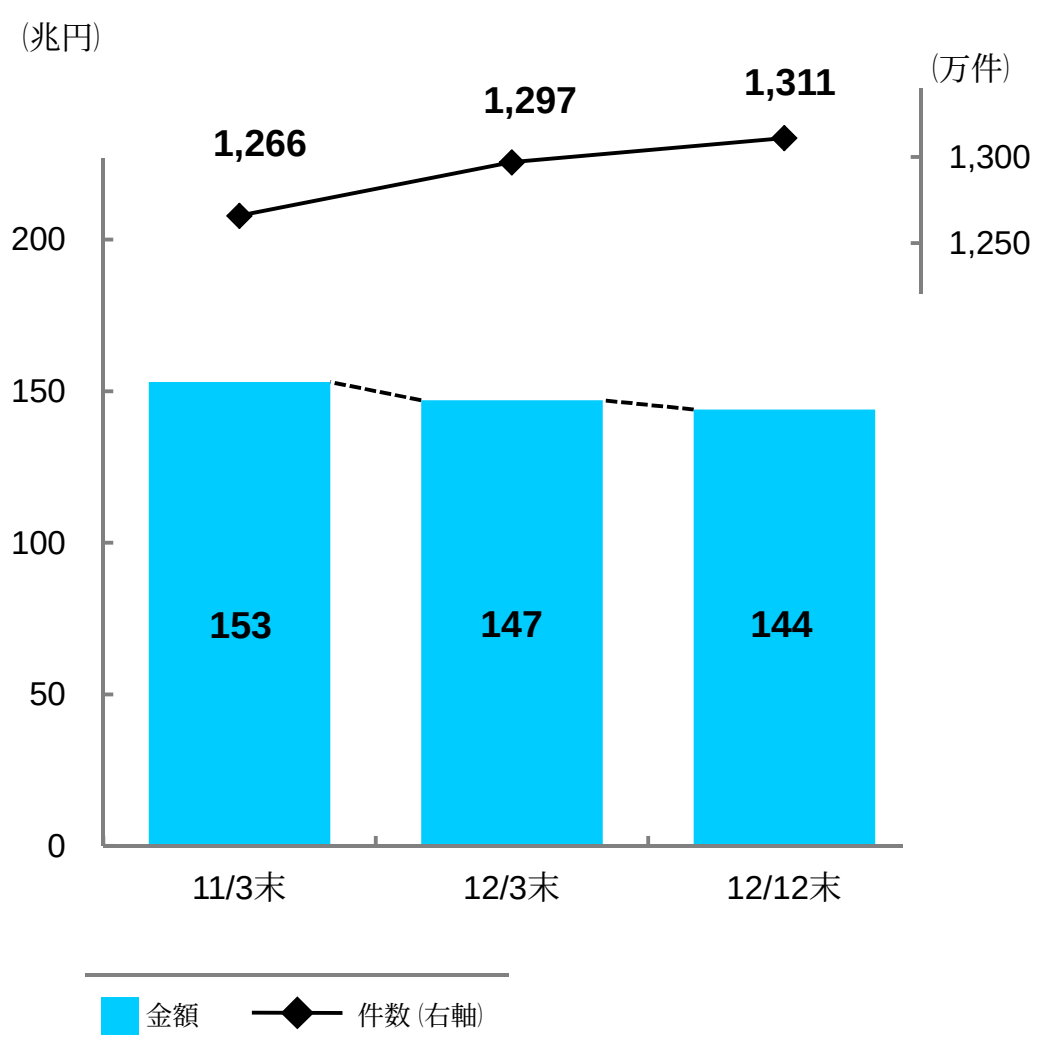
参考データ

契約高の動向（個人保険・個人年金保険）

新契約高 (1)



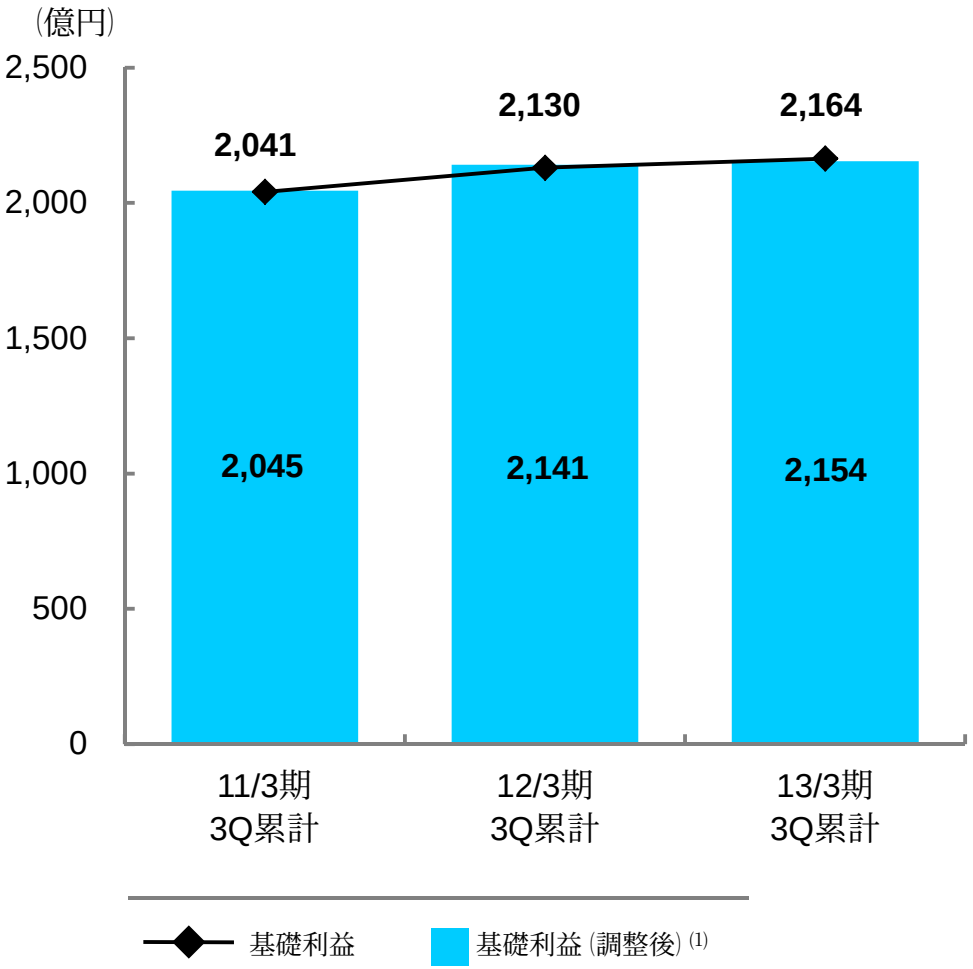
保有契約高 (1)



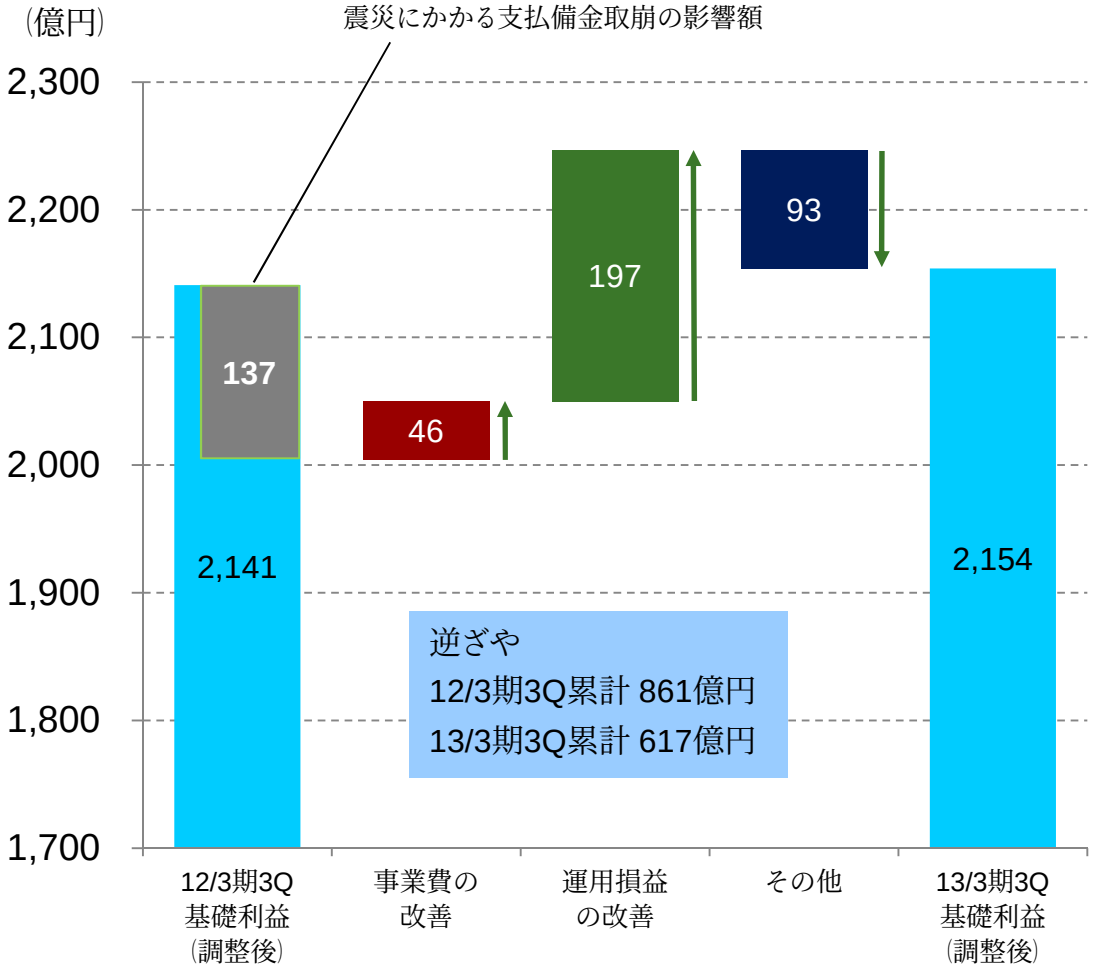
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

第一生命 (単体) 基礎利益

基礎利益



基礎利益 (調整後) の変動要因 (1)



(1) *基礎利益 (調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額*

第一生命(単体)財務諸表(要約)

損益計算書(1)

(億円)

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	増減
経常収益	32,573	30,376	△2,196
保険料等収入	23,270	21,142	△2,128
資産運用収益	7,074	7,381	+306
うち利息・配当金等収入	5,023	5,018	△5
うち有価証券売却益	2,017	1,680	△337
うち特別勘定資産運用益	-	436	+436
その他経常収益	2,228	1,853	△375
経常費用	30,577	29,183	△1,393
うち保険金等支払金	18,343	17,923	△420
うち責任準備金等繰入額	2,318	3,412	+1,093
うち資産運用費用	3,663	1,905	△1,757
うち有価証券売却損	1,064	500	△564
うち有価証券評価損	830	534	△295
うち特別勘定資産運用損	890	-	△890
うち事業費	3,005	2,959	△46
経常利益	1,996	1,192	△803
特別利益	59	49	△9
特別損失	305	213	△91
契約者配当準備金繰入額	522	597	+75
税引前四半期純利益	1,227	430	△796
法人税等合計	1,163	87	△1,075
四半期純利益	63	343	+279

貸借対照表

(億円)

	12/3末	12/12末	増減
資産の部合計	314,619	321,802	+7,183
うち現預金・コール	4,992	5,655	+662
うち買入金銭債権	2,943	2,925	△17
うち有価証券	253,334	261,627	+8,293
うち貸付金	34,125	31,906	△2,219
うち有形固定資産	12,541	12,379	△162
うち繰延税金資産	2,826	2,555	△271
負債の部合計	304,335	310,054	+5,718
うち保険契約準備金	285,299	288,652	+3,353
うち責任準備金	280,116	283,441	+3,325
うち危険準備金	4,230	4,410	+180
うち退職給付引当金	4,320	4,444	+123
うち価格変動準備金	744	884	+140
純資産の部合計	10,283	11,748	+1,464
うち株主資本合計	6,103	6,068	△35
うち評価・換算差額等合計	4,178	5,675	+1,497
うちその他有価証券評価差額金	4,794	6,070	+1,275
うち土地再評価差額金	△616	△380	+235

(1) *特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、経常利益に影響するものではありません*

第一フロンティア生命財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	増減
経常収益	2,558	4,258	+1,700
うち保険料等収入	2,429	3,214	+785
うち資産運用収益	127	1,043	+916
経常費用	2,800	4,389	+1,588
うち保険金等支払金	688	1,085	+396
うち責任準備金等繰入額	1,636	2,900	+1,263
うち資産運用費用	362	256	△106
うち事業費	106	137	+31
経常利益(△は損失)	△241	△130	+111
特別損益	△1	△2	△1
税引前四半期純利益(△は損失)	△243	△133	+109
法人税等合計	0	0	+0
四半期純利益(△は損失)	△243	△134	+109

貸借対照表

(億円)

	12/3末	12/12末	増減
資産の部合計	18,606	21,511	+2,905
うち現預金･コール	232	395	+162
うち有価証券	17,668	20,444	+2,775
負債の部合計	17,699	20,693	+2,993
うち保険契約準備金	17,498	20,398	+2,900
うち責任準備金	17,485	20,385	+2,900
うち危険準備金	571	710	+139
純資産の部合計	906	818	△87
うち株主資本合計	867	733	△134
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△982	△1,116	△134

豪TAL財務諸表（要約）

損益計算書(1) (2)

（百万豪ドル）

	12/3期 3Q累計	13/3期 3Q累計	増減
経常収益	1,543	1,793	+250
保険料等収入	1,217	1,370	+152
資産運用収益	19	184	+165
その他経常収益	306	239	△67
経常費用	1,412	1,665	+253
保険金等支払金	826	855	+28
責任準備金等繰入額	134	357	+223
資産運用費用	62	24	△37
事業費	331	364	+33
その他経常費用	56	62	+5
経常利益	131	128	△3
特別損失	2	-	△2
法人税等	42	41	△0
四半期純利益	86	86	△0
修正利益 (Underlying profit)	84	99	+14

貸借対照表(1) (2)

（百万豪ドル）

	12/3末	12/12末	増減
資産の部合計	5,067	5,327	+259
現預金	378	423	+44
有価証券	2,659	2,736	+76
有形固定資産	2	1	△1
無形固定資産	1,294	1,270	△24
のれん	783	783	-
その他の無形固定資産	511	487	△24
再保険貸	90	63	△26
その他資産	641	831	+190
負債の部合計	3,343	3,522	+178
保険契約準備金	2,369	2,486	+116
再保険借	215	272	+56
その他負債	670	655	△15
繰延税金負債	87	107	+20
純資産の部合計	1,724	1,805	+81
株主資本合計	1,724	1,805	+81
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	93	174	+81

(1)　連結対象の豪持株会社（TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd）に係る数値
(2)　オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております（修正利益を除く）

金融市場への感応度（2012年12月末、第一生命単体）

	感応度(1)	含み損益ゼロ水準(2)
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,800億円の増減 (2012年3月末：1,900億円)	日経平均株価 \8,500 (2012年3月末：\8,400)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,200億円の増減 (2012年3月末：2,000億円)	10年国債利回り 1.1% (2012年3月末：1.4%)
外国証券	ドル／円 1円の変動で 250億円の増減 (2012年3月末：220億円)	ドル／円 $1 = \83 (2012年3月末：\84)

(1) *各指標に対応する資産の時価総額の感応度*
(2) *各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準*

本資料の問い合わせ先

第一生命保険株式会社
経営企画部　IR室
電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

2013年2月13日
第一生命保険株式会社

2013年3月期第3四半期報告 財務・業績の概況

①契約の状況等

		2013年3月期 第3四半期	前年度末比	前年同期比	2012年3月期 第3四半期	2012年3月期
新契約年換算保険料（連結対象保険会社）	（百万円）	151,763	―	+7.0	141,817	193,426
うち第一生命分	（百万円）	96,103	―	△ 1.6	97,680	128,014
うち第三分野	（百万円）	30,625	―	△ 4.8	32,160	41,975
保有契約年換算保険料（連結対象保険会社）	（百万円）	2,305,922	+1.9	―	―	2,262,768
うち第一生命分	（百万円）	2,005,863	△ 0.0	△ 0.3	2,011,815	2,006,861
うち第三分野	（百万円）	521,090	+1.2	+1.3	514,156	515,044
連結保険料等収入	（百万円）	2,551,942	―	△ 4.2	2,662,533	3,539,579
保険料等収入（第一生命分）	（百万円）	2,114,206	―	△ 9.1	2,327,037	3,056,096
うち個人保険分野	（百万円）	1,416,816	―	△ 10.0	1,574,036	2,072,090
うち団体保険分野	（百万円）	660,867	―	△ 7.8	716,873	938,529
新契約高	（百万円）	5,706,567	―	+4.6	5,457,919	7,396,821
うち第一生命分	（百万円）	5,401,351	―	+3.5	5,218,610	7,051,996
保有契約高	（百万円）	144,486,827	△ 2.3	△ 3.1	149,128,773	147,891,788
うち第一生命分	（百万円）	142,449,966	△ 2.5	△ 3.4	147,492,334	146,135,492
解約・失効高	（百万円）	5,037,976	―	△ 6.5	5,390,558	7,149,268
うち第一生命分	（百万円）	4,983,408	―	△ 7.2	5,371,434	7,122,356
解約・失効率	（%）	3.41	―	―	3.52	4.67
うち第一生命分	（%）	3.41	―	―	3.54	4.69

※保険料等収入以外は個人保険＋個人年金保険
※前年度末比、前年同期比は増減比率

※連結対象保険会社とは第一生命、第一フロンティア生命、TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd、第一生命ベトナムの4社

※年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）

※保有契約年換算保険料（連結対象保険会社）については、2012年3月期第3四半期の数値がなく、前年同期比を非掲載

※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険＋個人年金、団体保険分野は団体保険＋団体年金の合計保険料（再保険料収入は含まない）

※解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出、主契約が継続している「減額」・「特約解約」を除く

※新契約高、保有契約高、解約・失効高ならびに解約・失効率は第一生命と第一フロンティア生命の合算値。
第一生命と第一フロンティア生命の保険料等収入の合算値は2,435,690百万円（前年同期比△5.2%）

②資産の状況等

		2013年3月期 第3四半期会計期間末	前年度末比	2012年3月期末
総資産	（百万円）	32,180,282	+2.3	31,461,940
実質純資産額	（億円）	40,294	+9.8	36,701
実質純資産額／一般勘定資産	（%）	13.0	―	12.1
ｿﾙﾍﾞﾝｼｰ・ﾏｰｼﾞﾝ比率	（%）	628.0	+52.1	575.9

※第一生命の実績を掲載
※前年度末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

③基礎利益（第一生命と第一フロンティア生命の合算値）

		2013年3月期 第3四半期累計期間	前年同期比	2012年3月期 第3四半期累計期間	2012年3月期
基礎利益（合算値） A	（百万円）	237,510	+30.5	181,947	319,966
第一生命	（百万円）	216,416	+1.6	213,001	302,425
第一フロンティア生命	（百万円）	21,093	―	△ 31,054	17,540
最低保証に係る責任準備金の増減の影響（合算値） B	（百万円）	14,638	―	△ 41,957	3,047
第一生命	（百万円）	947	―	△ 1,166	464
第一フロンティア生命	（百万円）	13,691	―	△ 40,790	2,582
基礎利益（合算値、最低保証に係る責任準備金の増減の影響を除く） A－B	（百万円）	222,871	△ 0.5	223,904	316,919
第一生命	（百万円）	215,469	+0.6	214,167	301,961
第一フロンティア生命	（百万円）	7,402	△ 24.0	9,736	14,957

※1 合算値は第一生命、第一フロンティア生命の単純和を表示
※前年同期比は増減比率

※2 最低保証に係る責任準備金とは、変額年金保険の最低保証リスクに対して、標準責任準備金制度の一環として積み立てているもの
最低保証に係る責任準備金が増加した場合は基礎利益を減少させる要因に、また、最低保証に係る責任準備金が減少した場合は基礎利益を増加させる要因になる

④経常利益

		2013年3月期 第3四半期累計期間	前年同期比	2012年3月期 第3四半期累計期間	2012年3月期
経常利益(第一生命)	(百万円)	119,271	△ 40.2	199,603	243,765
経常利益(連結)	(百万円)	112,699	△ 39.0	184,837	225,920

※前年同期比は増減比率

⑤純利益

		2013年3月期 第3四半期累計期間	前年同期比	2012年3月期 第3四半期累計期間	2012年3月期
四半期(当期)純利益(第一生命)	(百万円)	34,330	+437.3	6,389	17,624
四半期(当期)純利益(連結)	(百万円)	24,676	+94.1	12,709	20,357

※前年同期比は増減比率

⑥準備金

		2013年3月期 第3四半期会計期間末	前年度末比	2012年3月期末
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	27,903,071	+314,516	27,588,555
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	26,823,985	+325,272	26,498,713
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	1,079,085	△ 10,755	1,089,841
価格変動準備金	(百万円)	88,453	+14,000	74,453
危険準備金	(百万円)	441,093	+18,000	423,093
危険準備積立金	(百万円)	43,120	―	43,120
価格変動積立金	(百万円)	65,000	―	65,000

※第一生命の実績を掲載　　※前年度末比は増減

⑦含み損益

		2013年3月期 第3四半期会計期間末	前年度末比	2012年3月期末
有価証券	(百万円)	1,386,304	+170,673	1,215,631
うち国内株式	(百万円)	241,428	△ 56,395	297,824
うち国内債券	(百万円)	769,127	△ 21,479	790,607
うち外国証券	(百万円)	349,497	+235,089	114,408
不動産	(百万円)	19,132	+55,669	△ 36,536
その他共計	(百万円)	1,404,184	+224,229	1,179,954

※不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価前の水準　　※前年度末比は増減
※第一生命の実績を掲載

⑧資産の含み損益がゼロになる水準(2012年12月末時点)

		2012年12月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	約8,500円
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	約700ポイント
国内債券	(%)	約1.1%
外国証券	(円)	約83円

※株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出
※国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第一位まで算出
※外国証券はドル円換算にて算出
※第一生命の実績を掲載

⑨銀行窓販の状況(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

			2013年3月期 第3四半期累計期間	前年同期比	2012年3月期 第3四半期累計期間	2012年3月期
変額年金保険	新契約件数	(件)	12,016	+20.1	10,009	12,573
	金額(収入保険料)	(百万円)	57,322	+21.3	47,275	58,042
定額年金保険	新契約件数	(件)	38,015	+5.9	35,899	53,424
	金額(収入保険料)	(百万円)	174,306	+8.5	160,724	244,447

※銀行窓販の対象となる金融機関に一般証券会社を含めて記載　　※前年同期比は増減比率

			2013年3月期 第3四半期累計期間	前年同期比	2012年3月期 第3四半期累計期間	2012年3月期
変額一時払終身保険	新契約件数	(件)	3	△ 98.5	195	227
	金額(収入保険料)	(百万円)	24	△ 98.5	1,658	1,877
定額一時払終身保険	新契約件数	(件)	6,383	―	―	―
	金額(収入保険料)	(百万円)	52,111	―	―	―

※定額一時払終身保険については、2012年5月より販売を開始した外貨建て商品の実績を掲載。　　※前年同期比は増減比率

平成２５年２月１３日
第一生命保険株式会社

平成２４年度第３四半期報告

第一生命保険株式会社（社長　渡邉 光一郎）の平成２４年度第３四半期（平成２４年４月１日～平成２４年１２月３１日）の業績は添付のとおりです。

〔目 次〕

平成２４年度第３四半期報告の概況

１．主要業績	……	１頁
２．資産運用の実績（一般勘定）	……	３頁
３．四半期貸借対照表	……	６頁
４．四半期損益計算書	……	７頁
５．経常利益等の明細（基礎利益）	……	９頁
６．ソルベンシー・マージン比率	……	１０頁
７．特別勘定の状況	……	１１頁
８．保険会社及びその子会社等の状況	……	１２頁

以　上

１．主要業績

（１）保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、％)

区　　分	平成23年度末		平成24年度第3四半期会計期間末			
	件数	金額	件数	前年度末比	金額	前年度末比
個　人　保　険	11,372	1,385,979	11,406	100.3	1,345,416	97.1
個人年金保険	1,289	75,375	1,345	104.4	79,082	104.9
個人保険＋個人年金	12,662	1,461,354	12,752	100.7	1,424,499	97.5
団　体　保　険	-	504,915	-	-	490,112	97.1
団体年金保険	-	60,659	-	-	60,700	100.1

（注）１．個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と
　　年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。
　　２．団体年金保険については、責任準備金の金額です。

・新契約高

(単位：千件、億円、％)

区　　分	平成23年度第3四半期累計期間				平成24年度第3四半期累計期間					
	件数	金　額			件数		金　額			
			新契約	転換による純増加		前年同期比		新契約	転換による純増加	前年同期比
個　人　保　険	971	48,841	48,115	726	868	89.4	48,379	44,242	4,136	99.1
個人年金保険	47	3,344	3,417	△　73	82	174.7	5,634	5,707	△　72	168.5
個人保険＋個人年金	1,018	52,186	51,532	653	951	93.3	54,013	49,949	4,063	103.5
団　体　保　険	-	1,366	1,366	-	-	-	2,186	2,186	-	159.9
団体年金保険	-	5	5	-	-	-	0	0	-	10.2

（注）１．件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。
　　２．新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。
　　３．新契約の団体年金保険の金額は第１回収入保険料です。

(参考)
個人保険・個人年金保険の解約・失効高、解約・失効率

(単位：億円、％)

区　　分	平成23年度 第3四半期累計期間	平成24年度 第3四半期累計期間
解約・失効高	53,714	49,834
解約・失効率	3.54	3.41

（注）１．失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。
　　２．主契約が継続している「減額」・「特約解約」を除いています。

（２）年換算保険料

・保有契約

(単位：億円、％)

区　　分	平成23年度末	平成24年度 第3四半期会計期間末	前年度末比
個　人　保　険	16,828	16,642	98.9
個人年金保険	3,239	3,415	105.4
合　　計	20,068	20,058	100.0
うち医療保障・生前給付保障等	5,150	5,210	101.2

・新契約

(単位：億円、％)

区　　分	平成23年度 第3四半期累計期間	平成24年度 第3四半期累計期間	前年同期比
個　人　保　険	860	768	89.4
個人年金保険	116	192	164.7
合　　計	976	961	98.4
うち医療保障・生前給付保障等	321	306	95.2

（注）１．「年換算保険料」とは、１回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、１年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。

２．「医療保障・生前給付保障等」には、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

３．「新契約」には転換純増分も含んでいます。

２．資産運用の実績（一般勘定）

（１）資産の構成（一般勘定）

（単位：百万円、％）

区　分			平成23年度末		平成24年度 第3四半期会計期間末	
			金　額	占　率	金　額	占　率
現預金・コールローン			440,974	1.5	514,650	1.7
買現先勘定			-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金			-	-	-	-
買入金銭債権			294,324	1.0	292,532	0.9
商品有価証券			-	-	-	-
金銭の信託			20,672	0.1	20,536	0.1
有価証券			24,314,699	80.1	25,147,373	80.8
	公社債		15,541,651	51.2	16,202,008	52.1
	株式		2,284,861	7.5	2,132,838	6.9
	外国証券		6,298,234	20.7	6,568,533	21.1
		公社債	4,786,438	15.8	5,007,352	16.1
		株式等	1,511,795	5.0	1,561,180	5.0
	その他の証券		189,951	0.6	243,993	0.8
貸付金			3,412,529	11.2	3,190,608	10.3
	保険約款貸付		509,826	1.7	489,698	1.6
	一般貸付		2,902,702	9.6	2,700,909	8.7
不動産			1,249,101	4.1	1,225,929	3.9
	うち投資用不動産		810,238	2.7	786,240	2.5
繰延税金資産			282,638	0.9	255,536	0.8
その他			360,010	1.2	459,229	1.5
貸倒引当金			△ 10,670	△ 0.0	△ 2,398	△ 0.0
合計			30,364,280	100.0	31,103,997	100.0
	うち外貨建資産		4,669,650	15.4	4,978,251	16.0

（注）「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

（２）有価証券の時価情報（一般勘定）（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位：百万円）

区分		帳簿価額	時価	差損益		
					差益	差損
平成23年度末	満期保有目的の債券	135,828	141,079	5,250	5,250	-
	公社債	94,524	96,999	2,474	2,474	-
	外国公社債	41,303	44,079	2,775	2,775	-
	責任準備金対応債券	8,271,349	8,793,208	521,858	522,899	1,041
	公社債	8,271,349	8,793,208	521,858	522,899	1,041
	子会社・関連会社株式	1,763	1,932	168	168	-
	その他有価証券	14,051,792	14,743,299	691,506	978,055	286,548
	公社債	6,909,503	7,175,777	266,273	279,031	12,757
	株式	1,674,737	1,972,561	297,824	465,533	167,709
	外国証券	5,071,333	5,186,119	114,785	209,470	94,684
	公社債	4,608,914	4,745,134	136,220	189,147	52,926
	株式等	462,419	440,984	△ 21,434	20,323	41,758
	その他の証券	105,325	99,516	△ 5,808	5,541	11,349
	買入金銭債権	275,893	294,324	18,431	18,478	47
	譲渡性預金	15,000	15,000	0	0	-
	その他	-	-	-	-	-
	合計	22,460,734	23,679,519	1,218,784	1,506,374	287,590
	公社債	15,275,377	16,065,984	790,607	804,406	13,799
	株式	1,674,737	1,972,561	297,824	465,533	167,709
	外国証券	5,112,637	5,230,198	117,561	212,246	94,684
	公社債	4,650,217	4,789,214	138,996	191,922	52,926
	株式等	462,419	440,984	△ 21,434	20,323	41,758
	その他の証券	107,088	101,448	△ 5,639	5,710	11,349
	買入金銭債権	275,893	294,324	18,431	18,478	47
	譲渡性預金	15,000	15,000	0	0	-
	その他	-	-	-	-	-
平成24年度第3四半期会計期間末	満期保有目的の債券	138,401	143,362	4,961	4,961	-
	公社債	94,979	98,185	3,205	3,205	-
	外国公社債	43,421	45,177	1,756	1,756	-
	責任準備金対応債券	10,038,681	10,539,735	501,053	524,518	23,464
	公社債	10,038,681	10,539,735	501,053	524,518	23,464
	子会社・関連会社株式	2,031	2,047	15	15	-
	その他有価証券	12,999,431	13,874,862	875,430	1,099,789	224,358
	公社債	5,803,477	6,068,346	264,869	274,106	9,237
	株式	1,582,300	1,823,728	241,428	390,510	149,082
	外国証券	5,183,070	5,525,967	342,897	403,106	60,209
	公社債	4,641,174	4,963,931	322,757	356,215	33,458
	株式等	541,895	562,036	20,140	46,890	26,750
	その他の証券	146,846	154,286	7,440	13,043	5,603
	買入金銭債権	273,737	292,532	18,794	19,021	226
	譲渡性預金	10,000	9,999	△ 0	-	0
	その他	-	-	-	-	-
	合計	23,178,546	24,560,007	1,381,461	1,629,284	247,823
	公社債	15,937,139	16,706,267	769,127	801,829	32,701
	株式	1,582,300	1,823,728	241,428	390,510	149,082
	外国証券	5,226,491	5,571,145	344,653	404,862	60,209
	公社債	4,684,595	5,009,109	324,513	357,972	33,458
	株式等	541,895	562,036	20,140	46,890	26,750
	その他の証券	148,878	156,334	7,456	13,059	5,603
	買入金銭債権	273,737	292,532	18,794	19,021	226
	譲渡性預金	10,000	9,999	△ 0	-	0
	その他	-	-	-	-	-

（注）本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

（単位：百万円）

区　　分		平成23年度末	平成24年度 第3四半期会計期間末
満期保有目的の債券		-	-
	非上場外国公社債	-	-
	その他	-	-
責任準備金対応債券		-	-
子会社・関連会社株式		338,206	340,424
	非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	182,680	182,680
	非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	148,716	148,716
	その他	6,809	9,027
その他有価証券		1,133,357	1,055,108
	非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	129,619	126,429
	非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	905,550	833,551
	非上場外国公社債	0	0
	その他	98,188	95,126
合　　計		1,471,564	1,395,533

（注）１．本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。
２．時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券のうち、外国証券の為替を評価した差損益は以下のとおりです。
(平成23年度末：△3,153百万円、平成24年度第3四半期会計期間末：4,843百万円)

（３）金銭の信託の時価情報（一般勘定）

（単位：百万円）

区　　分	貸借対照表計上額	時価	差損益		
				差益	差損
平成23年度末	20,672	20,672	358	6,288	5,929
平成24年度第3四半期会計期間末	20,536	20,536	2,863	7,017	4,154

（注）本表記載の時価相当額の算定は、金銭の信託の受託者が合理的に算定した価格によっています。
差損益には金銭の信託内で設定しているデリバティブ取引に係る差損益も含んでいます。

・運用目的の金銭の信託

（単位：百万円）

区　　分	平成23年度末		平成24年度第3四半期会計期間末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
運用目的の金銭の信託	20,672	358	20,536	2,863

（注）「当期の損益に含まれた評価損益」には期始の振戻損益を含めています。

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託
平成23年度末、平成24年度第3四半期会計期間末ともに残高がないため、記載していません。

3．四半期貸借対照表

（単位：百万円）

科目＼期別	平成23年度末要約貸借対照表（平成24年3月31日現在） 金額	平成24年度第3四半期会計期間末（平成24年12月31日現在） 金額
（資産の部）		
現金及び預貯金	259,498	298,932
コールローン	239,800	266,600
買入金銭債権	294,324	292,532
金銭の信託	20,672	20,536
有価証券	25,333,423	26,162,739
（うち国債）	(13,354,741)	(14,093,061)
（うち地方債）	(311,133)	(300,440)
（うち社債）	(2,187,285)	(2,111,663)
（うち株式）	(2,549,923)	(2,400,954)
（うち外国証券）	(6,614,982)	(6,896,571)
貸付金	3,412,529	3,190,608
保険約款貸付	509,826	489,698
一般貸付	2,902,702	2,700,909
有形固定資産	1,254,198	1,237,982
無形固定資産	105,338	102,058
再保険貸	7,076	10,816
その他資産	243,177	311,151
繰延税金資産	282,638	255,536
支払承諾見返	20,074	33,470
貸倒引当金	△ 10,670	△ 2,398
投資損失引当金	△ 142	△ 283
資産の部合計	31,461,940	32,180,282
（負債の部）		
保険契約準備金	28,529,906	28,865,235
支払備金	130,386	132,168
責任準備金	28,011,648	28,344,165
契約者配当準備金	387,871	388,902
再保険借	458	617
社債	148,652	150,849
その他負債	1,128,862	1,324,249
未払法人税等	6,222	22,815
リース債務	1,664	7,961
資産除去債務	3,551	3,371
その他の負債	1,117,424	1,290,101
退職給付引当金	432,022	444,407
役員退職慰労引当金	2,521	2,383
時効保険金等払戻引当金	1,000	838
価格変動準備金	74,453	88,453
再評価に係る繰延税金負債	95,608	94,921
支払承諾	20,074	33,470
負債の部合計	30,433,560	31,005,427
（純資産の部）		
資本金	210,200	210,207
資本剰余金	210,200	210,207
資本準備金	210,200	210,207
利益剰余金	206,703	200,561
利益準備金	5,600	5,600
その他利益剰余金	201,103	194,961
危険準備積立金	43,120	43,120
価格変動積立金	65,000	65,000
不動産圧縮積立金	19,352	20,579
繰越利益剰余金	73,630	66,261
自己株式	△ 16,703	△ 14,078
株主資本合計	610,399	606,896
その他有価証券評価差額金	479,490	607,019
繰延ヘッジ損益	△ 44	△ 1,355
土地再評価差額金	△ 61,616	△ 38,084
評価・換算差額等合計	417,829	567,578
新株予約権	150	379
純資産の部合計	1,028,379	1,174,855
負債及び純資産の部合計	31,461,940	32,180,282

４．四半期損益計算書

（単位:百万円）

期別 / 科目	平成23年度第3四半期累計期間（平成23年4月1日から 平成23年12月31日まで） 金額	平成24年度第3四半期累計期間（平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで） 金額
経常収益	3,257,325	3,037,632
保険料等収入	2,327,037	2,114,206
（うち保険料）	(2,326,486)	(2,113,693)
資産運用収益	707,425	738,118
（うち利息及び配当金等収入）	(502,371)	(501,854)
（うち金銭の信託運用益）	(-)	(515)
（うち有価証券売却益）	(201,768)	(168,052)
（うち特別勘定資産運用益）	(-)	(43,643)
その他経常収益	222,862	185,307
（うち支払備金戻入額）	(38,347)	(-)
経常費用	3,057,721	2,918,361
保険金等支払金	1,834,335	1,792,301
（うち保険金）	(555,777)	(573,240)
（うち年金）	(364,561)	(382,477)
（うち給付金）	(356,375)	(384,418)
（うち解約返戻金）	(462,815)	(369,674)
（うちその他返戻金）	(94,077)	(81,504)
責任準備金等繰入額	231,870	341,226
支払備金繰入額	-	1,781
責任準備金繰入額	224,689	332,516
契約者配当金積立利息繰入額	7,181	6,928
資産運用費用	366,324	190,529
（うち支払利息）	(13,998)	(14,089)
（うち金銭の信託運用損）	(2,362)	(-)
（うち有価証券売却損）	(106,497)	(50,067)
（うち有価証券評価損）	(83,026)	(53,427)
（うち金融派生商品費用）	(5,484)	(22,321)
（うち特別勘定資産運用損）	(89,043)	(-)
事業費	300,524	295,915
その他経常費用	324,667	298,389
経常利益	199,603	119,271
特別利益	5,906	4,944
固定資産等処分益	906	4,944
価格変動準備金戻入額	5,000	-
特別損失	30,539	21,366
固定資産等処分損	1,218	4,467
減損損失	29,320	2,899
価格変動準備金繰入額	-	14,000
契約者配当準備金繰入額	52,268	59,799
税引前四半期純利益	122,702	43,050
法人税及び住民税	7,510	38,381
法人税等調整額	108,802	△ 29,661
法人税等合計	116,313	8,719
四半期純利益	6,389	34,330

注記事項

(四半期貸借対照表及び株主資本等関係)

１　法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べ、当第３四半期累計期間の経常利益及び税引前四半期純利益は201百万円増加しております。

２　消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は、719,315百万円であります。

３　契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

当期首残高	387,871百万円
当第３四半期累計期間契約者配当金支払額	65,696　〃
利息による増加等	6,928　〃
契約者配当準備金繰入額	59,799　〃
当第３四半期会計期間末残高	388,902　〃

(四半期損益計算書関係)

１　１株当たり四半期純利益金額は3,468円69銭であります。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額は3,467円53銭であります。

５．経常利益等の明細(基礎利益)

（単位：百万円）

区　　分	平成23年度 第3四半期累計期間	平成24年度 第3四半期累計期間
基礎収益	3,055,327	2,867,582
保険料等収入	2,327,037	2,114,206
資産運用収益	505,426	568,067
うち利息及び配当金等収入	502,371	501,854
その他経常収益	222,862	185,307
基礎費用	2,842,325	2,651,165
保険金等支払金	1,834,335	1,792,301
責任準備金等繰入額	239,902	211,464
資産運用費用	142,895	53,095
事業費	300,524	295,915
その他経常費用	324,667	298,389
基礎利益　A	213,001	216,416
キャピタル収益	201,768	168,568
金銭の信託運用益	-	515
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	201,768	168,052
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	-	-
キャピタル費用	223,307	137,277
金銭の信託運用損	2,362	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	106,497	50,067
有価証券評価損	83,026	53,427
金融派生商品費用	5,484	22,321
為替差損	25,937	11,460
その他キャピタル費用	-	-
キャピタル損益　B	△　21,539	31,291
キャピタル損益含み基礎利益　A＋B	191,462	247,707
臨時収益	90,229	1,482
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	90,000	-
個別貸倒引当金戻入額	58	1,482
その他臨時収益　（注）	171	-
臨時費用	82,088	129,918
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	-	18,000
個別貸倒引当金繰入額	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	120	8
その他臨時費用　（注）	81,967	111,909
臨時損益　C	8,141	△　128,436
経常利益　A＋B＋C	199,603	119,271

（注）1.平成23年度第3四半期累計期間において、その他臨時収益には、投資損失引当金戻入額(171百万円)、その他臨時費用には、保険業法施行規則第69条第5項の規定により責任準備金を追加して積み立てた額(81,967百万円)を記載しました。

2.平成24年度第3四半期累計期間において、その他臨時費用には、投資損失引当金繰入額(147百万円)及び保険業法施行規則第69条第5項の規定により責任準備金を追加して積み立てた額(111,762百万円)の合計額を記載しました。

６．ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項　　目		平成23年度末	平成24年度 第3四半期会計期間末
ソルベンシー・マージン総額（A）		3,128,027	3,455,945
	資本金等＊1	594,550	615,325
	価格変動準備金	74,453	88,453
	危険準備金	423,093	441,093
	一般貸倒引当金	2,411	1,265
	その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	622,400	788,229
	土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 36,536	16,262
	全期チルメル式責任準備金相当額超過額	1,469,387	1,574,615
	負債性資本調達手段等	441,780	436,219
	全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△383,699	△432,131
	控除項目	△169,507	△169,507
	その他	89,694	96,118
リスクの合計額　$\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$（B）		1,086,199	1,100,557
	保険リスク相当額　R_1	94,146	91,116
	第三分野保険の保険リスク相当額　R_8	158,098	160,125
	予定利率リスク相当額　R_2	284,367	273,733
	最低保証リスク相当額　R_7 ＊2	5,874	5,526
	資産運用リスク相当額　R_3	739,876	765,594
	経営管理リスク相当額　R_4	25,647	25,921
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2)\times(B)}\times 100$		575.9%	628.0%

＊　1　社外流出予定額及び評価・換算差額等を除いています。
＊　2　標準的方式を用いて算出しています。

（注）平成23年度末は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。
平成24年度第3四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出しています。

７．特別勘定の状況

（１）特別勘定資産残高の状況

（単位：百万円）

区　　分	平成23年度末	平成24年度 第3四半期会計期間末
	金　　額	金　　額
個人変額保険	43,785	44,412
個人変額年金保険	142,821	134,204
団体年金保険	929,076	918,547
特別勘定計	1,115,683	1,097,164

（２）個人変額保険及び個人変額年金保険の保有契約高

・個人変額保険

（単位：件、百万円）

区　　分	平成23年度末		平成24年度 第3四半期会計期間末	
	件　　数	金　　額	件　　数	金　　額
変額保険（有期型）	191	940	185	909
変額保険（終身型）	46,835	290,505	46,306	287,080
合計	47,026	291,446	46,491	287,989

（注）保有契約高には定期保険特約部分を含んでいます。

・個人変額年金保険

（単位：件、百万円）

区　　分	平成23年度末		平成24年度 第3四半期会計期間末	
	件　　数	金　　額	件　　数	金　　額
個人変額年金保険	41,056	131,129	37,993	122,434

（注）保有契約高には年金支払開始後契約を含んでいます。

８．保険会社及びその子会社等の状況

（１）主要な業務の状況を示す指標

（単位：百万円）

項　　目	平成23年度 第3四半期連結累計期間	平成24年度 第3四半期連結累計期間
経 常 収 益	3,596,875	3,583,723
経 常 利 益	184,837	112,699
四 半 期 純 利 益	12,709	24,676
四 半 期 包 括 利 益	△ 27,377	164,164

項　　目	平成23年度末	平成24年度 第3四半期連結会計期間末
総 資 産	33,468,670	34,517,654
ソルベンシー・マージン比率	563.2%	617.4%

（２）連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結される子会社及び子法人等社数	15社
持分法適用非連結子会社及び子法人等社数	０社
持分法適用関連法人等社数	14社

期中における重要な子会社等の異動について
（四半期連結財務諸表の作成方針）をご参照ください。

（３）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

期別 / 科目	平成23年度末 要約連結貸借対照表 （平成24年3月31日現在） 金額	平成24年度 第3四半期連結会計期間末 （平成24年12月31日現在） 金額
（資産の部）		
現金及び預貯金	315,187	370,346
コールローン	249,200	281,800
買入金銭債権	294,324	292,532
金銭の信託	48,266	44,696
有価証券	27,038,793	28,165,517
貸付金	3,413,620	3,191,780
有形固定資産	1,254,685	1,238,362
無形固定資産	211,055	208,427
再保険貸	41,751	33,209
その他資産	307,973	402,844
繰延税金資産	284,562	257,353
支払承諾見返	20,074	33,470
貸倒引当金	△ 10,684	△ 2,403
投資損失引当金	△ 142	△ 283
資産の部合計	33,468,670	34,517,654
（負債の部）		
保険契約準備金	30,489,920	31,136,608
支払備金	239,320	268,396
責任準備金	29,862,729	30,479,310
契約者配当準備金	387,871	388,902
再保険借	12,681	15,029
社債	148,652	150,849
その他負債	1,188,105	1,390,703
退職給付引当金	433,791	446,617
役員退職慰労引当金	2,538	2,404
時効保険金等払戻引当金	1,000	838
価格変動準備金	74,831	89,116
繰延税金負債	9,719	15,175
再評価に係る繰延税金負債	95,608	94,921
支払承諾	20,074	33,470
負債の部合計	32,476,924	33,375,735
（純資産の部）		
資本金	210,200	210,207
資本剰余金	210,200	210,207
利益剰余金	165,557	149,760
自己株式	△ 16,703	△ 14,078
株主資本合計	569,253	556,096
その他有価証券評価差額金	483,446	617,106
繰延ヘッジ損益	△ 44	△ 1,355
土地再評価差額金	△ 61,616	△ 38,084
為替換算調整勘定	△ 8,535	△ 354
その他の包括利益累計額合計	413,249	577,311
新株予約権	150	379
少数株主持分	9,091	8,132
純資産の部合計	991,745	1,141,919
負債及び純資産の部合計	33,468,670	34,517,654

（4）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

（単位：百万円）

期別 / 科目	平成23年度 第3四半期連結累計期間 （平成23年4月1日から 平成23年12月31日まで）	平成24年度 第3四半期連結累計期間 （平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで）
	金額	金額
経常収益	3,596,875	3,583,723
保険料等収入	2,662,533	2,551,942
資産運用収益	714,141	837,662
（うち利息及び配当金等収入）	(505,694)	(510,409)
（うち金銭の信託運用益）	(3,343)	(-)
（うち売買目的有価証券運用益）	(-)	(10,930)
（うち有価証券売却益）	(201,810)	(171,054)
（うち特別勘定資産運用益）	(-)	(118,019)
その他経常収益	220,199	194,119
経常費用	3,412,037	3,471,024
保険金等支払金	1,962,852	1,968,222
（うち保険金）	(581,979)	(596,267)
（うち年金）	(365,531)	(383,736)
（うち給付金）	(373,472)	(408,080)
（うち解約返戻金）	(481,121)	(419,909)
責任準備金等繰入額	375,833	647,067
支払備金繰入額	-	33,932
責任準備金繰入額	368,652	606,206
契約者配当金積立利息繰入額	7,181	6,928
資産運用費用	400,597	201,646
（うち支払利息）	(14,934)	(14,946)
（うち金銭の信託運用損）	(-)	(13,018)
（うち売買目的有価証券運用損）	(1,346)	(-)
（うち有価証券売却損）	(106,497)	(50,074)
（うち有価証券評価損）	(83,027)	(53,427)
（うち金融派生商品費用）	(3,297)	(30,209)
（うち特別勘定資産運用損）	(121,360)	(-)
事業費	339,397	345,099
その他経常費用	333,356	308,987
経常利益	184,837	112,699
特別利益	28,886	4,946
固定資産等処分益	909	4,945
価格変動準備金戻入額	4,860	-
段階取得に係る差益	23,116	-
その他特別利益	0	1
特別損失	30,884	21,662
固定資産等処分損	1,243	4,478
減損損失	29,526	2,899
価格変動準備金繰入額	-	14,285
その他特別損失	114	0
契約者配当準備金繰入額	52,268	59,799
税金等調整前四半期純利益	130,571	36,185
法人税及び住民税等	11,073	41,575
法人税等調整額	109,197	△ 28,453
法人税等合計	120,270	13,122
少数株主損益調整前四半期純利益	10,300	23,062
少数株主損失	2,409	1,613
四半期純利益	12,709	24,676

(四半期連結包括利益計算書)

（単位：百万円）

期別 / 科目	平成23年度 第3四半期連結累計期間 （平成23年4月1日から 平成23年12月31日まで） 金額	平成24年度 第3四半期連結累計期間 （平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで） 金額
少数株主損益調整前四半期純利益	10,300	23,062
その他の包括利益	△ 37,677	141,101
その他有価証券評価差額金	△ 36,898	134,192
繰延ヘッジ損益	△ 1,327	△ 1,311
土地再評価差額金	17,118	△ 90
為替換算調整勘定	△ 15,631	8,048
持分法適用会社に対する持分相当額	△ 938	263
四半期包括利益	△ 27,377	164,164
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 25,039	165,115
少数株主に係る四半期包括利益	△ 2,337	△ 950

注記事項

(四半期連結財務諸表の作成方針)

重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表及び株主資本等関係)

1　当社並びに連結される国内の子会社及び子法人等は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べ、当第３四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益は202百万円増加しております。

2　消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期連結貸借対照表価額は、729,786百万円であります。

3　契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

当連結会計期間期首残高	387,871百万円
当第３四半期連結累計期間契約者配当金支払額	65,696　〃
利息による増加等	6,928　〃
契約者配当準備金繰入額	59,799　〃
当第３四半期連結会計期間末残高	388,902　〃

4　配当金支払額は次のとおりであります。

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年６月25日定時株主総会	普通株式	15,818	1,600	平成24年３月31日	平成24年６月26日	利益剰余金

(注)　配当金の総額には、信託口及び第一生命保険従業員持株会専用信託に対する配当金181百万円を含めておりません。これは信託口及び第一生命保険従業員持株会専用信託が所有する当社株式を自己株式として認識しているためであります。

5　重要な後発事象の注記は次のとおりであります。

平成25年１月22日付で、米国資産運用会社Janus Capital Group Inc.（以下、「ジャナス社」という。）を当社の関連法人等といたしました。

(1) 株式取得の目的

リタイアメント人口の増加等を背景に中長期的な成長が見込める米国資産運用市場において、株式運用を中心とした高い競争力、幅広い販売ネットワークを有し、強固なブランドを確立しているジャナス社を当社の関連法人等とし、運用委託、人財派遣等を通じて当社の一般勘定資産の運用競争力向上、海外アセットマネジメント事業に関するノウハウの獲得を目的として株式を取得いたしました。

(2) 相手会社の名称、事業内容、規模

①　相手会社の名称

Janus Capital Group Inc.

②　事業内容

資産運用事業

③　規模(平成24年12月末現在)

運用資産残高　　1,568億米ドル（135,757億円）

(3) 株式取得の時期

平成24年８月に出資・業務提携契約を締結した後、市場から段階的に取得いたしました。

(4) 取得した株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

①　取得した株式の数

37,254,654株

②　取得価額

26,034百万円

③　取得後の持分比率(平成24年12月末現在)

19.90%

(注)　（　）内に記載した円貨額は、１米ドル＝86.58円による換算額であります。

(四半期連結損益計算書関係)

１　一部の連結される子会社及び子法人等の税金費用は、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

２　１株当たり四半期純利益金額は2,493円21銭であります。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額は2,492円38銭であります。

３　当第３四半期連結累計期間に係る賃貸用不動産等減価償却費は11,078百万円、減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は29,733百万円、のれんの償却額は2,640百万円であります。

（５）連結ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項　　目			平成23年度末	平成24年度 第3四半期連結会計期間末
ソルベンシー・マージン総額（Ａ）			3,096,077	3,435,160
	資本金等＊1		453,417	462,584
	価格変動準備金		74,831	89,116
	危険準備金		480,251	512,151
	異常危険準備金		-	-
	一般貸倒引当金		2,425	1,269
	その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)		628,174	802,662
	土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)		△ 36,536	16,262
	全期チルメル式責任準備金相当額超過額		1,527,129	1,630,036
	負債性資本調達手段等		441,780	436,219
	全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額		△525,037	△568,571
	控除項目		△ 40,052	△ 42,690
	その他		89,694	96,118
リスクの合計額 $\sqrt{\left(\sqrt{R_1^2+R_5^2}+R_8+R_9\right)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4+R_6$（Ｂ）			1,099,355	1,112,769
	保険リスク相当額	R_1	101,911	102,432
	一般保険リスク相当額	R_5	-	-
	巨大災害リスク相当額	R_6	-	-
	第三分野保険の保険リスク相当額	R_8	164,238	167,522
	少額短期保険業者の保険リスク相当額	R_9	-	-
	予定利率リスク相当額	R_2	287,440	278,184
	最低保証リスク相当額	R_7 ＊2	28,829	26,740
	資産運用リスク相当額	R_3	723,443	747,324
	経営管理リスク相当額	R_4	26,117	26,444
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{（A）}{（1／2）×（B）}×100$			563.2%	617.4%

＊１ 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除いています。
＊２ 標準的方式を用いて算出しています。

(注) 平成23年度末は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。
平成24年度第3四半期連結会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出しています。

（6）子会社等である保険会社の保険金等の支払能力の充実の状況
（ソルベンシー・マージン比率）

・第一フロンティア生命保険株式会社

(単位：百万円)

項　　目		平成23年度末	平成24年度 第3四半期会計期間末
ソルベンシー・マージン総額（A）		207,088	211,581
	資本金等	86,770	73,350
	価格変動準備金	378	663
	危険準備金	57,157	71,058
	一般貸倒引当金	17	7
	その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	5,023	11,083
	土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	-	-
	全期チルメル式責任準備金相当額超過額	57,741	55,420
	負債性資本調達手段等	-	-
	全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
	控除項目	-	-
	その他	-	-
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$ （B）		47,284	45,805
	保険リスク相当額　R_1	0	2
	第三分野保険の保険リスク相当額　R_8	-	-
	予定利率リスク相当額　R_2	3,073	4,450
	最低保証リスク相当額　R_7	21,923	20,266
	資産運用リスク相当額　R_3	20,910	19,753
	経営管理リスク相当額　R_4	1,377	1,334
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2)\times(B)}\times 100$		875.9%	923.8%

（注）1．平成23年度末は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。
平成24年度第3四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出しています。

2．最低保証リスク相当額は、標準的方式を用いて算出しています。

（7）セグメント情報

単一セグメントであるため、セグメント情報については記載をしておりません。

平成 25 年 2 月 13 日

証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

第一生命保険株式会社

金融安定化フォーラムの報告書（平成 20 年 4 月）に示された先進的開示例に基づき、証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況を開示します。

証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の概要は以下のとおりです。

・平成 24 年 12 月末時点でサブプライムローンに直接投資しているものはありません。
・ヘッジファンドにおいては、サブプライム関連商品のエクスポージャーをポートフォリオの一部に含むファンドがありますが、ポートフォリオ全体に占める同エクスポージャーの割合が小さく、相場変動時においても大きく損失を被るリスクは少ないものと判断しています。
・証券化商品等の投資額全体の 8 割弱がＲＭＢＳです。内訳は「米国政府系機関または米国政府支援機関の保証のついたモーゲージ債券」、「日本国内の住宅ローン債権を裏付けにしたもの」、「住宅金融支援機構財投機関債券」となっています。

なお、表中の項目について以下のように定義しています。

・「含み損益」は時価から簿価を差し引いたものであり、「実現損益」は、売却損益と減損額を加えたものです。（利息および配当金収入等は含めていません。）

1.投資状況

①特別目的事業体（SPEs）一般

特別目的事業体（ＳＰＥｓ）への投資はありません。

（単位：億円）

	時価	含み損益	実現損益
特別目的事業体（SPEs）一般	-	-	-
ABCP	-	-	-
うち当社が組成する SPEs	-	-	-
SIV	-	-	-
うち当社が組成する SPEs	-	-	-
その他	-	-	-
うち当社が組成する SPEs	-	-	-

②債務担保証券（CDO）

（単位：億円）

		時価	含み損益	実現損益
債務担保証券（CDO）（※1）（※2）		15	0	-
ABS－CDO		-	-	-
	シニア	-	-	-
	うちサブプライム・Alt-A エクスポージャー	-	-	-
	メザニン	-	-	-
	うちサブプライム・Alt-A エクスポージャー	-	-	-
	エクイティ	-	-	-
	うちサブプライム・Alt-A エクスポージャー	-	-	-
CLO		15	0	-
	シニア	15	0	-
	メザニン	-	-	-
	エクイティ	-	-	-
CBO		-	-	-
	シニア	-	-	-
	メザニン	-	-	-
	エクイティ	-	-	-
ｼﾝｾﾃｨｯｸ CDO		-	-	-
	シニア	-	-	-
	メザニン	-	-	-
	エクイティ	-	-	-
その他		-	-	-
	シニア	-	-	-
	メザニン	-	-	-
	エクイティ	-	-	-

※1. 保有している債務担保証券（ＣＤＯ）の全体の規模は、合計約 4,216 億円であり、うち当社が保有するＣＤＯは 15 億円です。

※2. 当該ＣＤＯの格付別内訳は、以下の通りです。

（単位：億円）

外部格付	時価	比率
ＡＡＡ	-	-
ＡＡ	15	100.0%
Ａ	-	-
ＢＢＢ	-	-
ＢＢ	-	-
Ｂ	-	-
格付なし	-	-
合計	15	100.0%

③その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー

サブプライム・Alt-A エクスポージャーを裏付資産に持つ証券化商品等の保有はありません。 (単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益
その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー	-	-	-
証券化されていないローン	-	-	-
RMBS	-	-	-
デリバティブ	-	-	-
コミットメントライン	-	-	-
その他	-	-	-

④商業用不動産担保証券 (CMBS)

商業用不動産担保証券（ＣＭＢＳ）の保有はありません。 (単位:億円)

	時価		含み損益	実現損益
		参考:平成 24 年 9 月末		
商業用不動産担保証券 (CMBS)	-	-	-	-
日本	-	-	-	-
米国	-	-	-	-
欧州	-	-	-	-
英国	-	-	-	-
その他	-	-	-	-

⑤レバレッジド・ファイナンス

レバレッジド・ファイナンスの保有はありません。 (単位:億円)

	時価		含み損益	実現損益
		参考:平成 24 年 9 月末		
レバレッジド・ファイナンス	-	-	-	-
通信	-	-	-	-
電機	-	-	-	-
娯楽	-	-	-	-
サービス	-	-	-	-
その他	-	-	-	-

⑥その他 (※1)

(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益
ヘッジファンド (※2)	2,264	△141	-
ＣＤＳ	-	-	-
ＲＭＢＳ	(※3) 13,558	770	77
ＡＢＳ	1,482	28	-
クレジットリンクノート	601	△8	-

※1. サブプライムローンに直接投資しているものはありません。

※2. ヘッジファンドにおいては、サブプライム関連商品のエクスポージャーをポートフォリオの一部に含むファンドがありますが、ポートフォリオ全体に占める同エクスポージャーの割合が小さく、相場変動時においても大きく損失を被るリスクは少ないものと判断しています。

※3. ＲＭＢＳの内訳は、「米国政府系機関または米国政府支援機関の保証のついたモーゲージ債券」約 10,612 億円、「日本国内の住宅ローン債権を裏付けにしたもの」約 2,775 億円、「住宅金融支援機構財投機関債券」約 170 億円となっています。

2.証券化商品等全体の内訳

サブプライムローンに直接投資しているものはありません。

(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益	占率(時価)
証券化商品等合計	17,922	650	77	100.0%
CDO	15	0	-	0.1%
CMBS	-	-	-	-
ヘッジファンド	2,264	△141	-	12.6%
CDS	-	-	-	-
RMBS	13,558	770	77	75.6%
ABS	1,482	28	-	8.3%
クレジットリンクノート	601	△8	-	3.4%

3.その他の関連情報

子会社における、サブプライムローン関連商品への投資はありません。

＜各種証券化商品の用語について＞

ABCP：Asset Backed Commercial Paper（資産担保コマーシャルペーパー）

ABS：Asset Backed Securities（資産担保証券）

ABS-CDO：CDO of ABS（資産担保証券を裏付資産とする債務担保証券）

CBO：Collateralized Bond Obligation（債券担保証券）

CDO：Collateralized Debt Obligation（債務担保証券）

CDS：Credit Default Swap（クレジット・デフォルト・スワップ）

CLO：Collateralized Loan Obligation（ローン担保証券）

CMBS：Commercial Mortgage-Backed Securities（商業用不動産担保証券）

RMBS：Residential Mortgage-Backed Securities（住宅ローン担保証券）

SIV：Structured Investment Vehicle（ストラクチャード・インベストメント・ビークル）

以上